

2018.08

◇全国・女性

防災についてのアンケート 調査レポート

リビング暮らしHOW研究所

調査期間

2018年7月11日～2018年7月16日

調査方法

リビングWeb、シティリビングWeb、あんふあんWebに開設したフォームに入力させるWEBアンケート

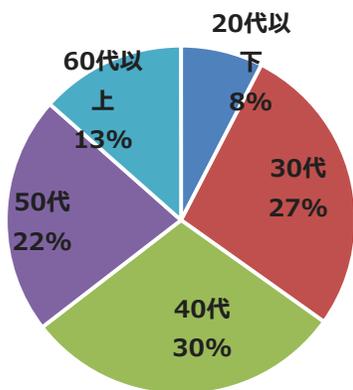
集計数

1279人

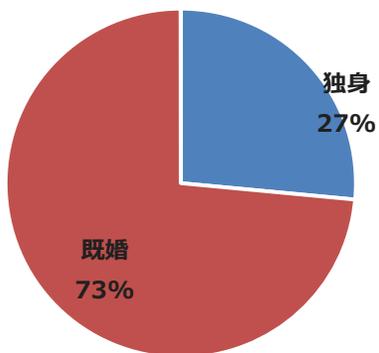
◇調査目的

地震や豪雨など頻発する自然災害。現在住んでいる地域の自然災害への危機意識や、自分自身の備え、防災対策の状況を明らかにする

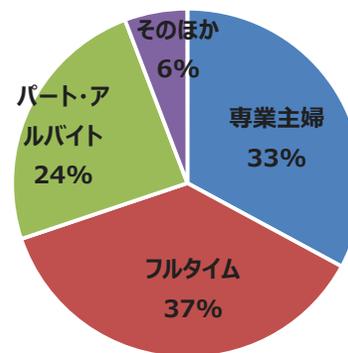
年代



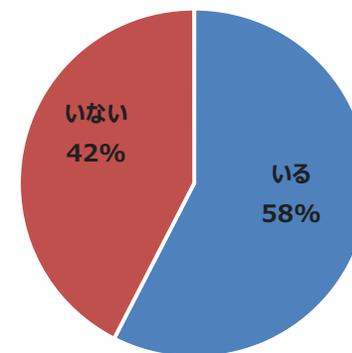
未婚



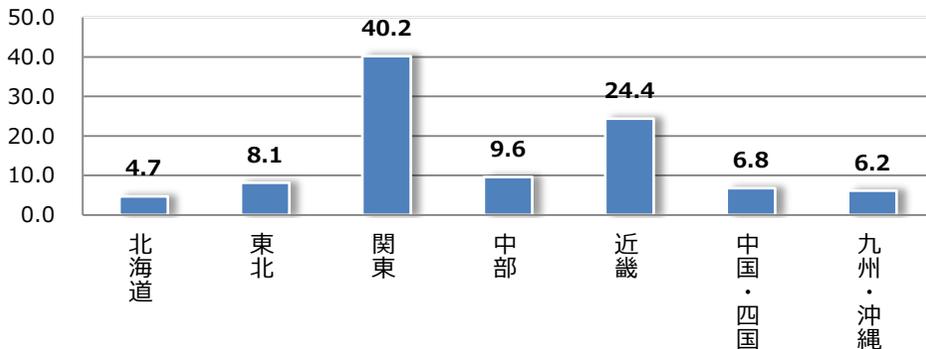
働き方



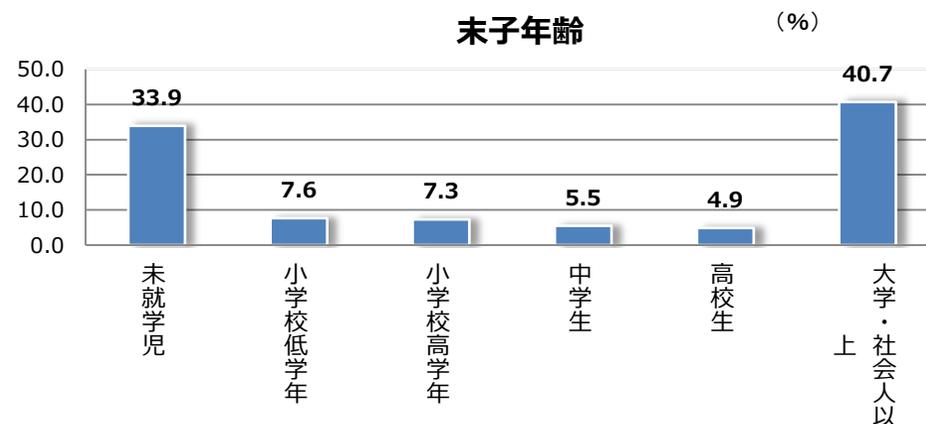
子どもの有無



居住地域



末子年齢



設問

Q 1. あなたが住む地域は、次の自然災害に対して安全だと思いますか？(SA) またなぜそう思いますか？(MA)

- ◇地震に対して
- ◇津波に対して
- ◇豪雨に対して
- ◇大雪に対して
- ◇大風や竜巻に対して

Q 2. あなたが住む地域の自然災害に対する総合的な安全性を、10点満点で採点してください(危険=0点、安全=10点) (SA)

Q 3. 総合点が5点以下と答えた人にお聞きます。お住まいの地域であるかもしれないと不安に感じる被害は下記のうちのどれですか？あてはまるものをいくつでも(MA)

Q 4. 災害対策として、あなたや家族が、日ごろから準備をしているものは？あてはまるものをいくつでも(MA)

Q 5. 今はまだ準備をしていないが、今後、準備したいものは？あてはまるものをいくつでも(MA)

Q 6. (備蓄用の水や食料品を日ごろから備蓄している人) 災害発生後、自宅で生活できるよう3日分～7日分を目安とした非常食を備蓄することが推奨されていますが、あなたの家庭で準備している備蓄は家族全員分の3日分～7日分を目安にしていますか？(SA)

Q 7. 災害対策として、あなた自身や家族が、日ごろから確認をしている情報は？あてはまるものをいくつでも(MA)

Q 8. 今はまだ確認をしていないが、今後確認したい情報は？あてはまるものをいくつでも(MA)

Q 9. 災害情報、災害予測情報は主にどんな情報源を通して確認していますか？(MA)

Q 10. (災害予測・災害情報のアプリを使っている人へ) どんなアプリを使っているか、名前を教えてください(FA)

Q 11. 被災時の家族や親戚、学校や職場との連絡には、どのような手段を使うことを想定していますか？あてはまるものをいくつでも(MA)

Q 12. 6月の大阪府北部地震、7月の西日本豪雨の際、あなたはSNSを使って情報の発信や、拡散(リツイートなど)をしましたか？(SA)

Q 13. 自治体や町内会などが実施する防災訓練に参加したことがありますか？(SA)

Q 14. 「参加したことはあるが最近ではしていない」「参加したことはない」「防災訓練が行われていることを知らない」と答えた方、今後、自治体や町内会などが実施する防災訓練に参加したいと思いませんか？(SA)

Q 15. 行政からの、防災に関する情報は足りていますか？(SA)

Q 16. あなたの住む市区町村から、大きな災害が迫っているので避難をしてほしいという呼びかけがあった場合、あなたはすぐ避難をしますか？(SA)

Q 17. あなたは、電車やバスなどの公共交通機関を使って通勤をしていますか？(SA)

Q 18. 電車やバスなどの公共交通機関を使って通勤をしている方にお聞きます。大災害によって主要な交通機関が止まったり、気象庁から“不要不急の外出を控えるように”というメッセージが出た場合、あなたがとる行動に近いものは次のうちどれですか？(SA)

Q 19. 自然災害やその対策について、気になっていることや疑問、意見があれば自由に書いてください(FA)

調査サマリー①

◇自分が住む地域の自然災害に対する安全性評価

自然災害に対して、危険性を感じる人が多い、「中部地方」「若い年代」

◇住んでいる地域の、自然災害に対する総合的な安全性を、10点満点(0~10点、数字が大きい方が安全性が高い)で評価してもらったところ、最も多かったのは7点で、全体の1/4を占めた。

- ・全国平均は6.1点。
- ・最も低かったのは、中部地方で5.5点。
- ・年代別に見ると、年代が上がるほど、点数が上がっていく。20代以下の平均は5.9点、60代以上の平均は6.4点。

◇災害別に、住んでいる地域の安全性について聞いたところ、「危険」「やや危険」と感じる人が多かった災害は「地震」「豪雨」「大風・竜巻」の順だった。

- ・「危険を感じる理由」では、「地形や気候、地理的な条件から」が最も多く、次いで「過去の災害の実績の有無から」。
- ・「危険を感じる理由」として、「専門家の指摘」「行政の注意喚起」は、地震以外は、5%前後と極端に低い。

・安全性への評価が低い層(0~5)に対して、自然災害によってあるかもしれないと不安を感じる被害を聞いたところ、

- ①家屋や建築物の倒壊 ②道路や交通機関の寸断 ③洪水、川の氾濫。

◇災害への備え～準備しているもの

中国・四国地方は、“災害対策として準備しているもの”が少ない

◇備えている人が多いアイテムは

- ①備蓄用の水や食料品②家具や家電などの転倒防止・固定③非常用持ち出し袋。
- ・年代が上がるほど、いろいろな災害への備えをしている。
- ・エリア別に見ると、東北地方では準備しているアイテム数が最も多く、中国・四国地方では最も少ない。
- ・安全性評価が高くなるに従い、準備しているアイテム数が多い傾向も。

◇今後準備したいものは、

- ①非常用持ち出し袋②備蓄用の水や食料品③家具や家電などの転倒防止・固定。
- 前の質問で備えが少なかった層が、準備をしたいアイテムを多く挙げる傾向。エリア別では、中国・四国地方が「今後準備したいもの」が最も多く、特に「非常用持ち出し袋」を備えたいという意向が半数強だった。

◇備蓄の目安では、年代が下がるほど、また安全性評価が低いほど、備蓄量が少ない傾向がある。

- ・エリア別に見ると、特に九州・沖縄地方で、「備蓄はあるが3日分未満」が6割を超えた。

調査サマリー②

◇災害への備え～情報

災害対策として「日ごろから確認している情報はない」が2割

◇災害対策として日ごろから確認している情報は、

①自宅周辺の避難所とルート②緊急時の家族の連絡方法③雨雲レーダーなどの災害予測情報。

- ・4位に、「日ごろから確認している情報は特になし」（2割）が入った。
- ・年代別では、30代・50代が、安全性評価では、ポイントが高い人の方が、確認する情報の種類が多い。

◇今後確認したい情報では

①緊急時の家族の連絡方法②交通が寸断した場合の帰宅方法③自分が住む地域の危険なゾーン(ハザードマップ)。

- ・20代・30代は確認したい情報の種類が多く、特に20代は「ハザードマップ」を挙げた人が約4割。
- ・中部地方、中国・四国地方でも、確認したい情報の種類が多い。

◇災害情報・災害予測上の情報源は

①テレビ・ラジオ・新聞などのニュースや情報番組②ネットのニュースサイト・情報サイト③自治体のホームページ。

テレビなどのニュースは50代・60代で9割を占めるが、若い年代ほどウエイトが下がる。

- ・20代はツイッターが約4割と多い。

- ・60代では、「自治体の災害緊急無線や広報車」を挙げた人が1/3。中国・四国地方でも35.6%が「自治体の災害緊急無線や広報車」を選択したが、これは、20代・30代では約1割と特に少なかった。

◇6月の大阪府北部地震、7月の西日本豪雨の際に、SNSを使って情報の発信や、拡散をしたかを聞いたところ、拡散を「頻繁に+少しした」人は、全体の8.1%と少数だが、「情報を見たが拡散はしなかった」を含めると、4割が災害時にSNSを活用。

- ・ただし、20代では7割が活用。
- ・エリア別では、被災地を含む近畿地方、中国・四国地方で、拡散の割合が比較的高かった。

◇防災訓練・自治体の避難情報

地域の防災訓練に参加する人は16.6%。特に20代が少ない

◇地域で行われる防災訓練に「毎回+時々」参加する人は16.6%と少なく、一度も参加したことがない人が全体の4割を占める。

- ・20代は参加率が7.2%と低い一方で、60代以上は1/3が参加している。
- ・エリア別では、東北の参加率がやや高く、北海道の参加率が特に低い。
- ・北海道では「防災訓練が行われていることを知らない」が3割を占める。

◇地域で行われる防災訓練への今後の参加意向では、「参加したい」はわずか4.6%、「都合があれば参加したい」は6割。

- ・現在の参加率が低い北海道では、今後の参加意向も低い傾向。
- ・安全性評価が0～3と低い層も、参加意向は低め。

調査サマリー③と全体的な傾向

◇行政の防災情報・避難指示

**「自治体の呼びかけに応じて避難する」は6割。
近畿地方では、「自分で判断」が比較的多い**

◇行政の防災情報について、「十分」「まあ足りている」という充足回答は約3割、「やや」「不足」が半数超。

- ・年代的に見ると、20代は「まあ足りている」が34%と多く、少ないのは30代。
- ・エリア別では、中部地方と北海道が充足回答が少なく、特に北海道は「やや不足」が45%を占めた。

◇災害時の避難・市町村からの呼びかけへの対応では、避難の判断は

①避難勧告が出たら②呼びかけに関わらず自分で判断③避難指示が出たら。

- ・自治体の呼びかけに応じて避難する人は全体の62.8%だった。
- ・40代・50代および、近畿地方の人は、自分で判断するという割合が比較的高い。
- ・安全性評価ではポイントが高い人が、自治体の呼びかけに対応する傾向。

◇大災害で交通機関が止まった際の出社

勤め先の指示を仰ぐ・待つが半数以上。「頑張っ

◇公共交通機関を使って通勤をしている人に、大災害で交通機関がストップした際の出社について聞いた。

- ・全体で、最も多いのは「勤め先の指示を仰ぐ・待つ」で54.1%、次いで「自主的に休む・自宅作業」が34.9%、「頑張っ
- ・年代が上がるほど、「自主的に休む」が増え、「勤め先の指示を仰ぐ・待つ」が減少する。



あなたが住む地域の自然災害に対する総合的な安全性を、10点満点で採点してください～平均点～

	平均点
全体	6.1

年代	平均点
20代以下(n=96)	5.9
30代(n=347)	6.1
40代(n=373)	6.1
50代(n=277)	6.2
60代以上(n=170)	6.4

居住地域	平均点
北海道(n=60)	6.1
東北地方(n=104)	6.3
関東地方(n=508)	6.3
中部地方(甲信越・北陸含む) (n=119)	5.5
近畿地方(n=310)	6.2
中国地方(n=39)	5.6
四国地方(n=44)	6.0
九州地方(n=79)	6.1

自分の住む地域の総合的な安全性ポイントの平均は**6.1点**。年代が上がるほど、安全性ポイントもアップする。
ポイントが比較的高いエリアは、東北地方、関東地方で6.3点。最も低いのは中部地方で5.5点

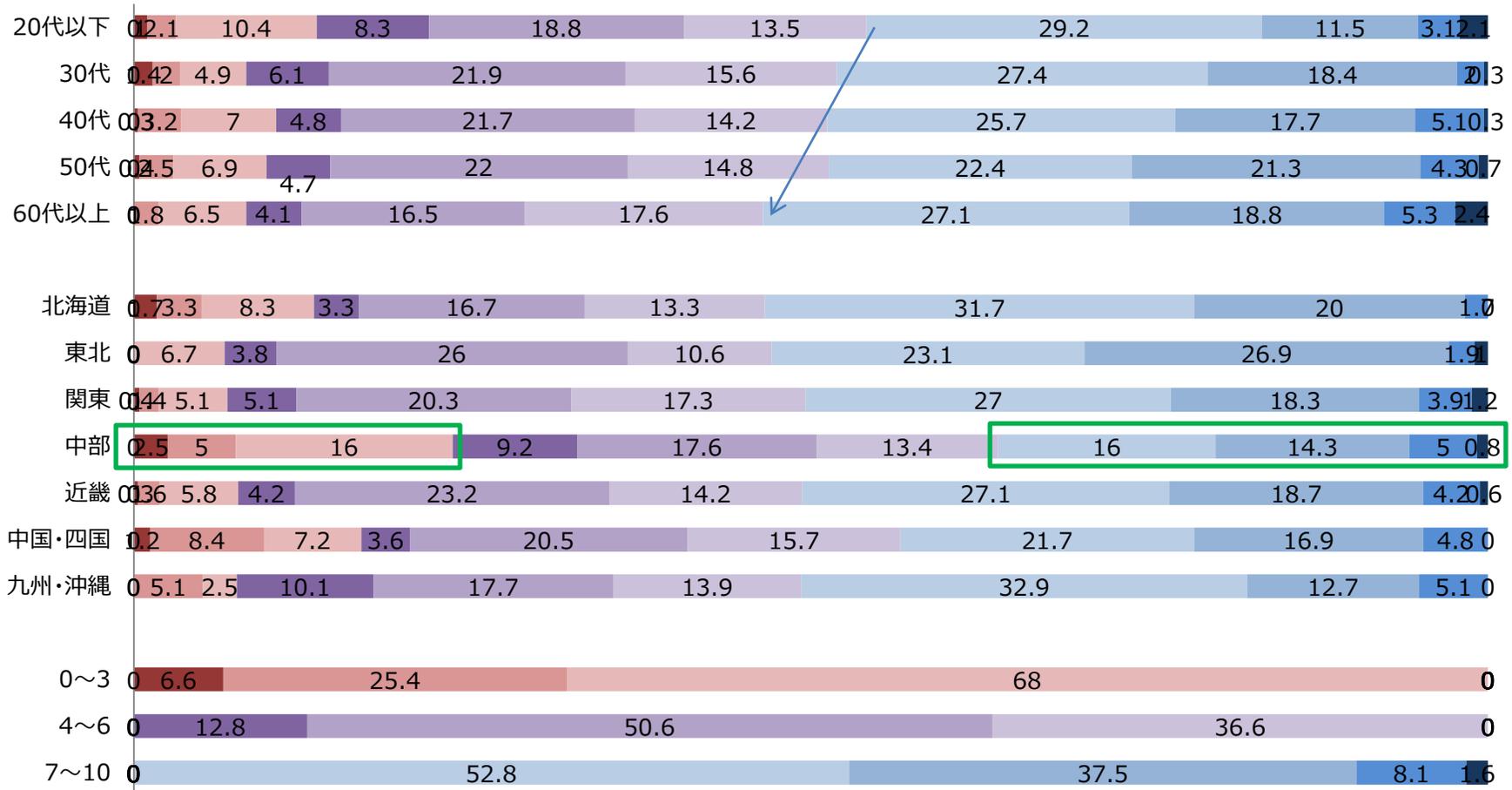
あなたが住む地域の自然災害に対する総合的な安全性を、10点満点で採点してください

		あなたが住む地域の自然災害に対する総合的な安全性を、10点満点で採点してください													
		合計	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	0	
	全体	1279	0.0	0.6	2.5	6.6	5.3	20.9	15.1	25.9	18.4	4.0	0.8	0.0	
年齢	20代以下	97	0.0	1.0	2.1	10.4	8.3	18.8	13.5	29.2	11.5	3.1	2.1	0.0	
	30代	349	0.0	1.4	2.0	4.9	6.1	21.9	15.6	27.4	18.4	2.0	0.3	0.0	
	40代	379	0.0	0.3	3.2	7.0	4.8	21.7	14.2	25.7	17.7	5.1	0.3	0.0	
	50代	282	0.0	0.4	2.5	6.9	4.7	22.0	14.8	22.4	21.3	4.3	0.7	0.0	
	60代以上	172	0.0	0.0	1.8	6.5	4.1	16.5	17.6	27.1	18.8	5.3	2.4	0.0	
都道府県 (統合)	北海道	60	0.0	1.7	3.3	8.3	3.3	16.7	13.3	31.7	20.0	1.7	0.0	0.0	
	東北	104	0.0	0.0	0.0	6.7	3.8	26.0	10.6	23.1	26.9	1.9	1.0	0.0	
	関東	514	0.0	0.4	1.4	5.1	5.1	20.3	17.3	27.0	18.3	3.9	1.2	0.0	
	中部	123	0.0	2.5	5.0	16.0	9.2	17.6	13.4	16.0	14.3	5.0	0.8	0.0	
	近畿	312	0.0	0.3	1.6	5.8	4.2	23.2	14.2	27.1	18.7	4.2	0.6	0.0	
	中国・四国	87	0.0	1.2	8.4	7.2	3.6	20.5	15.7	21.7	16.9	4.8	0.0	0.0	
	九州・沖縄	79	0.0	0.0	5.1	2.5	10.1	17.7	13.9	32.9	12.7	5.1	0.0	0.0	
住んでいる 地域の安 全度 (0~ 10)	0~3	122	0.0	6.6	25.4	68.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	4~6	522	0.0	0.0	0.0	0.0	12.8	50.6	36.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	7~10	619	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	52.8	37.5	8.1	1.6	0.0	

あなたが住む地域の自然災害に対する総合的な安全性を、10点満点で採点してください

総合的な安全性を、10点満点で採点すると

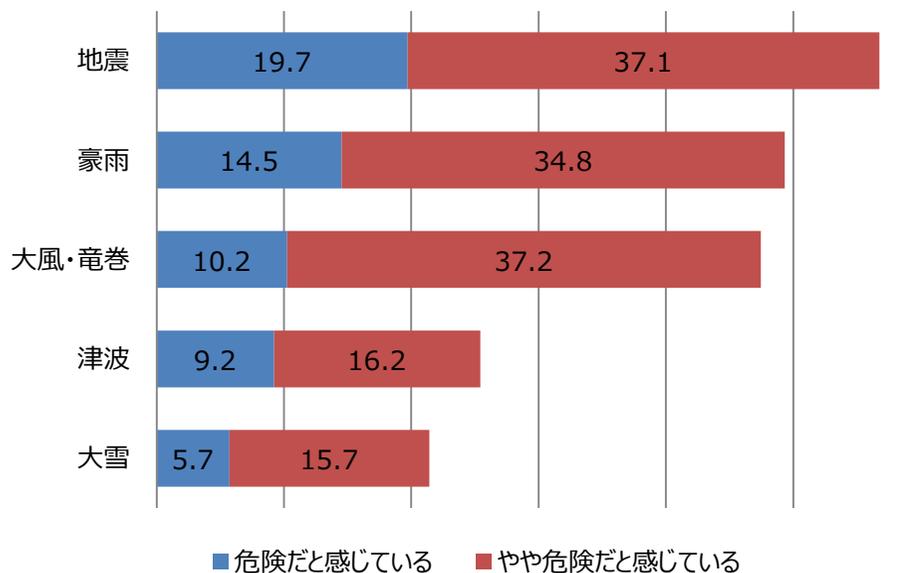
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10



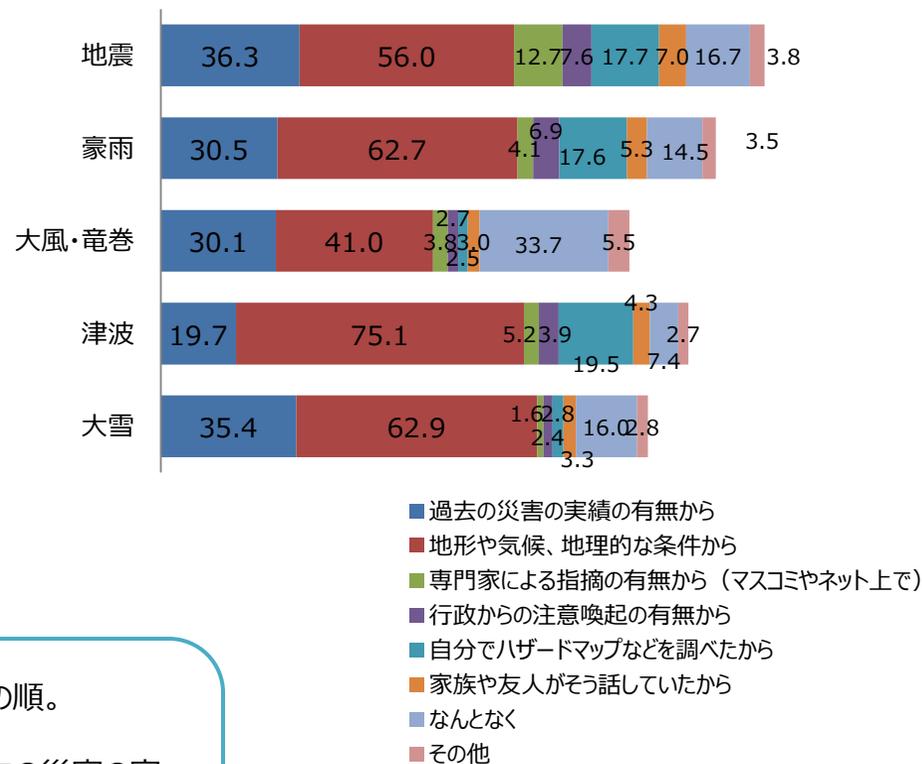
若い年代ほど、安全性に対する総合的な評価ポイントが低い=危険度が高い。地域では、中部地方の危機意識が高い。

あなたが住む地域は、次の自然災害に対して安全だと思いますか？ その理由は？

住んでいる地域が次の自然災害について危険と感じる割合



住んでいる地域が次の自然災害について危険と感じる理由



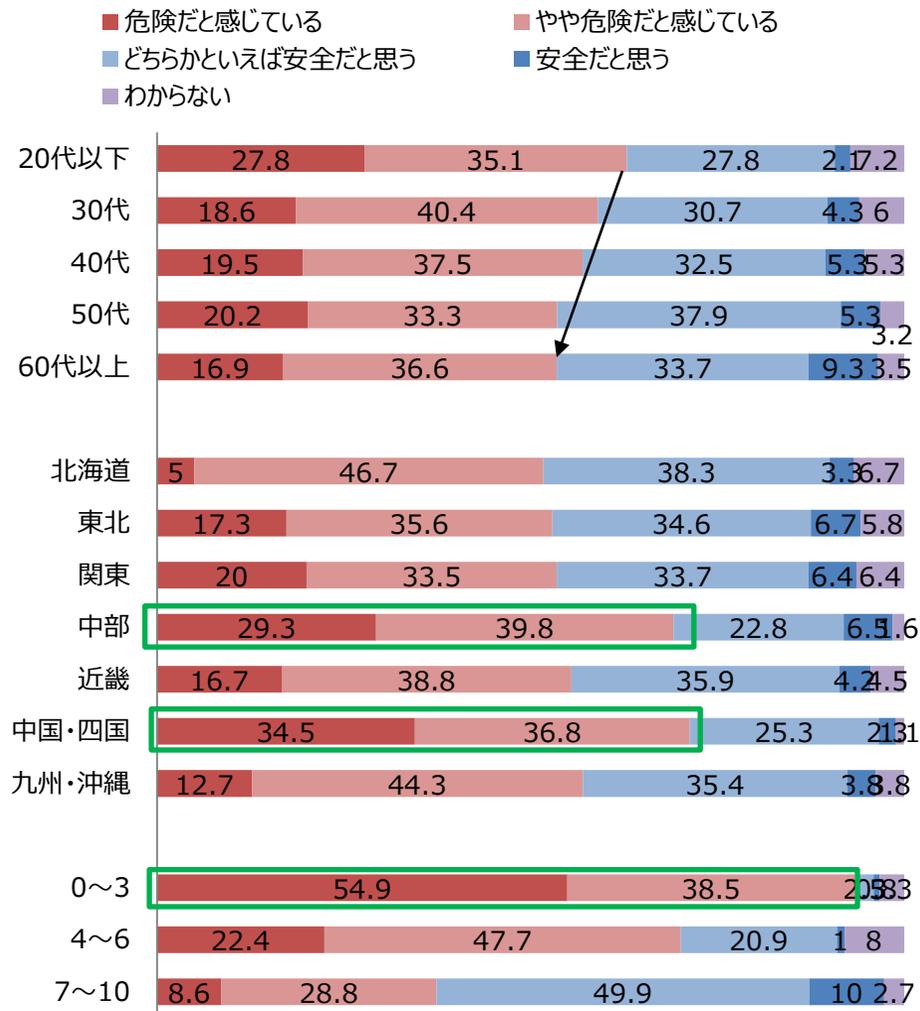
・「危険」「やや危険」と感じる人が多い災害は「地震」「豪雨」「大風・竜巻」の順。

・その理由では、「地形や気候、地理的な条件から」が最も多く、次いで「過去の災害の実績の有無から」。

・一方で「危険を感じる理由」の、「専門家の指摘」「行政の注意喚起」は、地震 = 「専門家の指摘」12.7% = 以外は、5%前後と極端に低い。

あなたが住む地域は、次の自然災害に対して安全だと思いますか？ その理由は？ ◇地震

地震



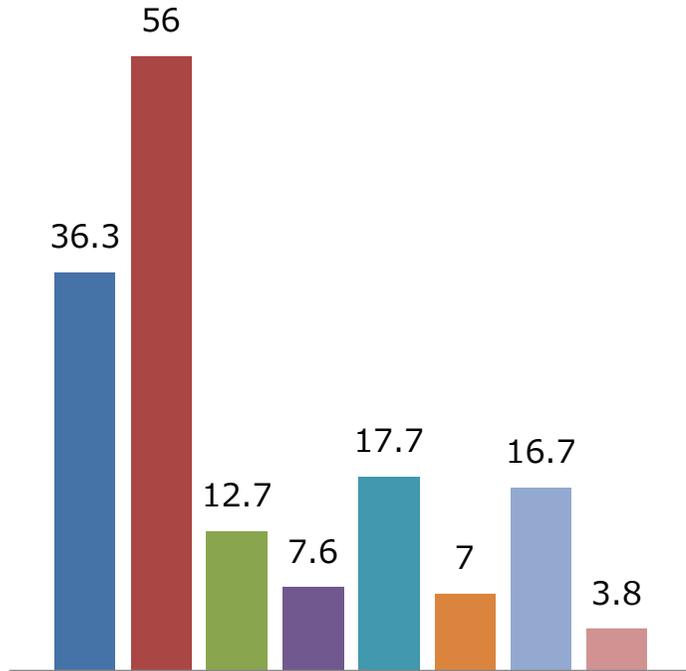
		合計	危険だと感じている	やや危険だと感じている	どちらかといえば安全だと思う	安全だと思う	わからない
	全体	1279	19.7	37.1	33.0	5.3	4.9
年齢	20代以下	97	27.8	35.1	27.8	2.1	7.2
	30代	349	18.6	40.4	30.7	4.3	6.0
	40代	379	19.5	37.5	32.5	5.3	5.3
	50代	282	20.2	33.3	37.9	5.3	3.2
	60代以上	172	16.9	36.6	33.7	9.3	3.5
住んでいる地域の安全度 (0~10)	北海道	60	5.0	46.7	38.3	3.3	6.7
	東北	104	17.3	35.6	34.6	6.7	5.8
	関東	514	20.0	33.5	33.7	6.4	6.4
	中部	123	29.3	39.8	22.8	6.5	1.6
	近畿	312	16.7	38.8	35.9	4.2	4.5
	中国・四国	87	34.5	36.8	25.3	2.3	1.1
	九州・沖縄	79	12.7	44.3	35.4	3.8	3.8
0~3	122	54.9	38.5	2.5	0.8	3.3	
4~6	522	22.4	47.7	20.9	1.0	8.0	
7~10	619	8.6	28.8	49.9	10.0	2.7	

若い年代ほど自分の住む地域の「地震」の危険性を感じる人が多い。エリア別では、中部地方、中国・四国地方が高め。安全性の評価ポイントが0~3と低い層は、地震の危険性を感じる割合が9割超と極端に高い。

あなたが住む地域は、次の自然災害に対して安全だと思いますか？その理由は？ ◇地震

地震

- 過去の災害の実績の有無から
- 地形や気候、地理的な条件から
- 専門家による指摘の有無から（マスコミやネット上で）
- 行政からの注意喚起の有無から
- 自分でハザードマップなどを調べたから
- 家族や友人がそう話していたから
- なんとなく
- その他

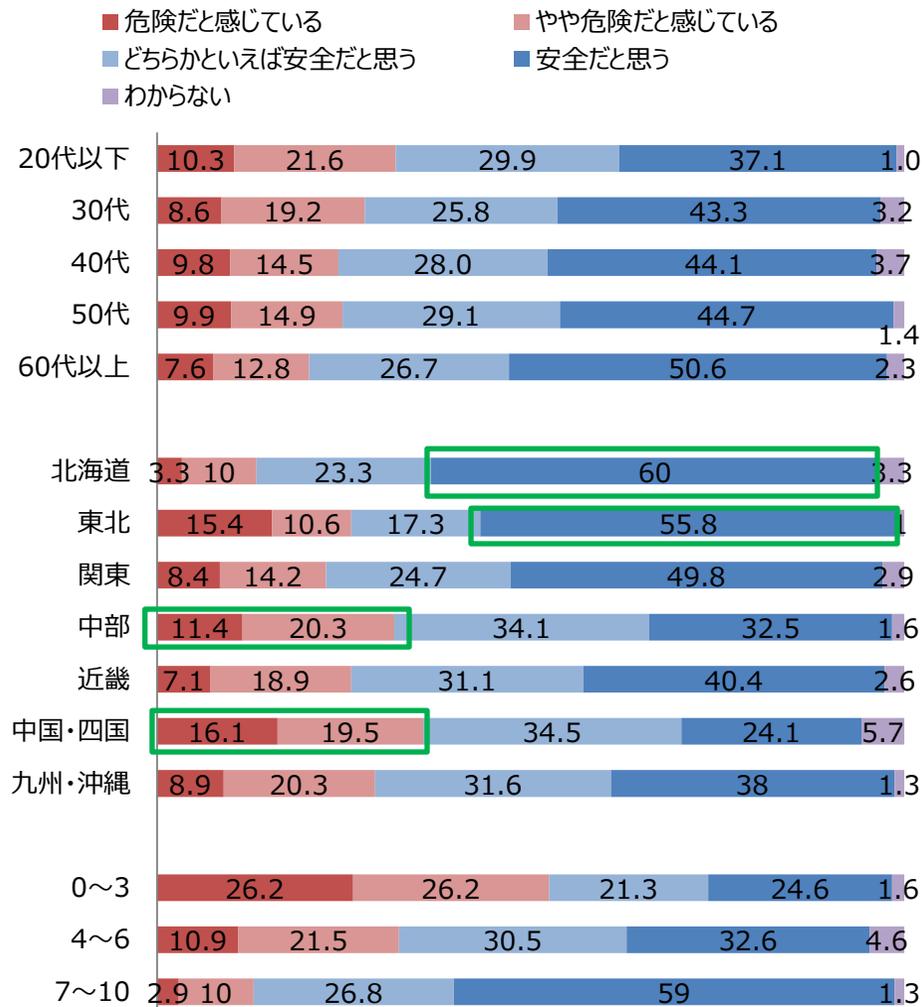


		あなたが住む地域への次の自然災害に対する評価の理由 ◇地震 ※複数回答									
		合計	過去の災害の実績の有無から	地形や気候、地理的な条件から	専門家による指摘の有無から（マスコミやネット上で）	行政からの注意喚起の有無から	自分でハザードマップなどを調べたから	家族や友人がそう話していたから	なんとなく	その他	
年齢	全体	1279	36.3	56.0	12.7	7.6	17.7	7.0	16.7	3.8	
	20代以下	97	39.2	56.7	9.3	7.2	5.2	16.5	22.7	4.1	
	30代	349	34.1	50.7	13.5	8.6	18.1	9.2	20.6	5.7	
	40代	379	35.6	58.0	10.3	6.6	15.6	4.2	17.4	4.0	
	50代	282	39.4	56.4	13.1	8.9	23.8	6.4	13.1	2.8	
	60代以上	172	35.5	61.0	17.4	5.8	18.6	4.7	9.9	0.6	
都道府県（統合）	北海道	60	35.0	50.0	21.7	15.0	21.7	8.3	18.3	3.3	
	東北	104	70.2	41.3	4.8	4.8	13.5	5.8	10.6	2.9	
	関東	514	28.0	59.3	12.1	8.4	20.6	7.6	16.9	3.9	
	中部	123	31.7	64.2	21.1	13.0	18.7	6.5	11.4	2.4	
	近畿	312	41.3	52.2	9.0	6.1	16.3	8.7	19.6	5.1	
	中国・四国	87	31.0	55.2	23.0	5.7	14.9	4.6	18.4	2.3	
	九州・沖縄	79	39.2	60.8	10.1	0.0	7.6	1.3	17.7	2.5	
住んでいる地域の安全度（0～10）	0～3	122	41.0	63.1	26.2	11.5	17.2	9.0	9.0	4.1	
	4～6	522	30.3	49.6	12.8	8.4	16.9	6.3	22.2	4.6	
	7～10	619	40.2	59.9	9.4	6.1	17.9	7.3	14.1	3.1	

地震への危険性を感じる理由では、東北地方の人は「過去の災害の実績」が7割と非常に多い。危機意識の高い中部地方は、地理的な条件を上げる人が64.2%と多かった。20代は「自分でハザードマップなどで調べた」が低く「家族などの話」「なんとなく」がやや高い。

あなたが住む地域は、次の自然災害に対して安全だと思いますか？ その理由は？ ◇津波

津波



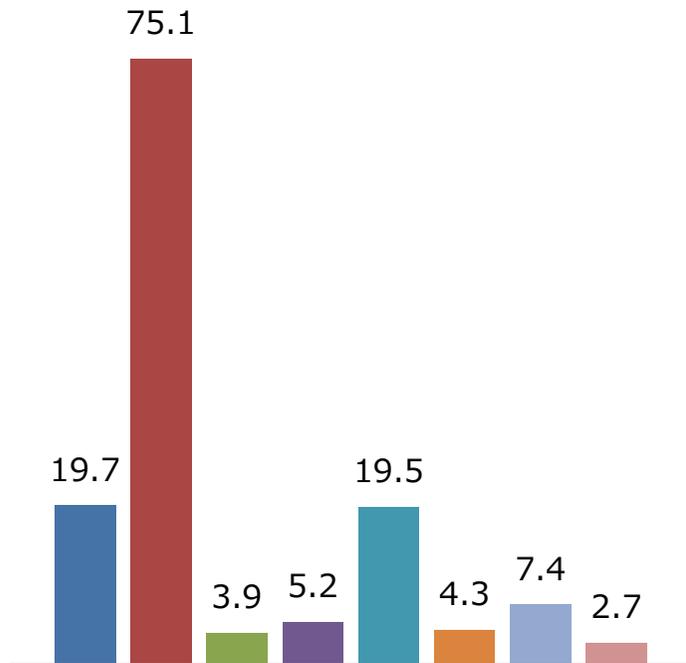
		合計	あなたが住む地域は、次の自然災害に対して安全だと思いますか？ ◇津波				
			危険だと感じている	やや危険だと感じている	どちらかといえば安全だと思う	安全だと思う	わからない
	全体	1279	9.2	16.2	27.6	44.3	2.7
年齢	20代以下	97	10.3	21.6	29.9	37.1	1.0
	30代	349	8.6	19.2	25.8	43.3	3.2
	40代	379	9.8	14.5	28.0	44.1	3.7
	50代	282	9.9	14.9	29.1	44.7	1.4
	60代以上	172	7.6	12.8	26.7	50.6	2.3
都道府県(統合)	北海道	60	3.3	10.0	23.3	60.0	3.3
	東北	104	15.4	10.6	17.3	55.8	1.0
	関東	514	8.4	14.2	24.7	49.8	2.9
	中部	123	11.4	20.3	34.1	32.5	1.6
	近畿	312	7.1	18.9	31.1	40.4	2.6
	中国・四国	87	16.1	19.5	34.5	24.1	5.7
	九州・沖縄	79	8.9	20.3	31.6	38.0	1.3
住んでいる地域の安全度 (0~10)	0~3	122	26.2	26.2	21.3	24.6	1.6
	4~6	522	10.9	21.5	30.5	32.6	4.6
	7~10	619	2.9	10.0	26.8	59.0	1.3

津波への危険性を感じる人は、1/4と多くはない。危機意識（危険+やや危険）が比較的高いのは、中部地方と中国・四国地方。北海道や東北地方は「安全だと思う」が6割程度と多かった。

あなたが住む地域は、次の自然災害に対して安全だと思いますか？その理由は？ ◇津波

津波

- 過去の災害の実績の有無から
- 地形や気候、地理的な条件から
- 専門家による指摘の有無から（マスコミヤネット上で）
- 行政からの注意喚起の有無から
- 自分でハザードマップなどを調べたから
- 家族や友人がそう話していたから
- なんとなく
- その他

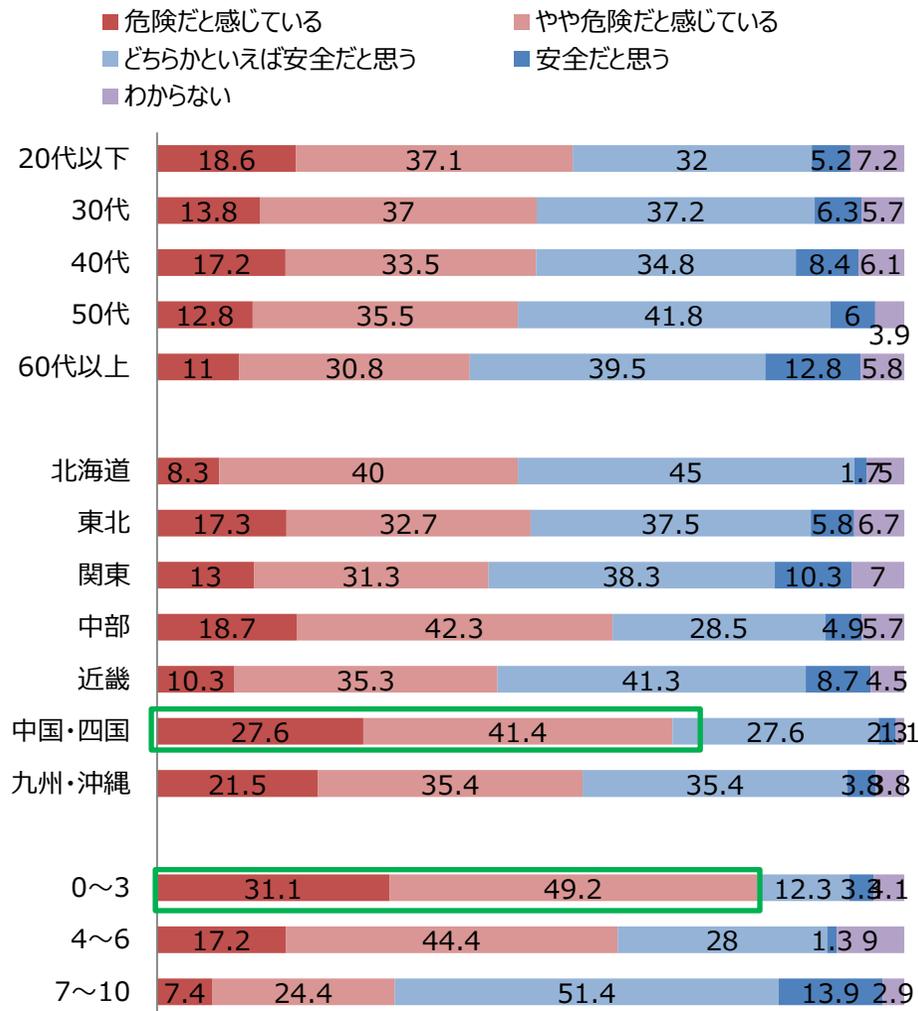


		合計	あなたが住む地域への次の自然災害に対する評価の理由 ◇津波 ※複数回答							
			過去の災害の実績の有無から	地形や気候、地理的な条件から	専門家による指摘の有無から（マスコミヤネット上で）	行政からの注意喚起の有無から	自分でハザードマップなどを調べたから	家族や友人がそう話していたから	なんとなく	その他
	全体	1279	19.7	75.1	3.9	5.2	19.5	4.3	7.4	2.7
年齢	20代以下	97	22.7	74.2	5.2	2.1	17.5	10.3	8.2	3.1
	30代	349	17.5	72.5	3.4	6.0	18.1	6.6	10.0	2.9
	40代	379	19.5	72.8	3.4	4.5	17.4	3.2	7.7	4.0
	50代	282	22.3	78.0	5.0	6.7	21.3	2.8	5.0	1.1
	60代以上	172	18.6	81.4	3.5	4.7	25.0	1.2	5.2	1.7
都道府県 (統合)	北海道	60	20.0	76.7	6.7	1.7	15.0	3.3	5.0	5.0
	東北	104	55.8	58.7	3.8	3.8	10.6	1.0	2.9	1.0
	関東	514	13.2	79.2	2.5	5.8	20.0	3.5	7.4	2.9
	中部	123	21.1	76.4	7.3	5.7	22.0	8.9	5.7	3.3
	近畿	312	18.3	71.8	4.2	6.4	23.4	5.4	8.3	2.2
	中国・四国	87	20.7	73.6	5.7	4.6	20.7	3.4	12.6	2.3
	九州・沖縄	79	16.5	82.3	2.5	1.3	10.1	3.8	8.9	2.5
住んでいる地域の安全度 (0~10)	0~3	122	18.0	79.5	7.4	8.2	22.1	7.4	2.5	2.5
	4~6	522	17.2	69.7	4.4	4.6	19.0	3.4	11.1	2.3
	7~10	619	21.8	78.7	2.6	5.2	19.2	4.2	5.5	3.1

津波への危険性を感じる理由は「地形や気候、地理的な条件から」がダントツで多く、「過去の実績」を挙げた人は2割弱。東北では「過去の実績」、九州では「地理的な条件」を挙げる人が比較的多い。

あなたが住む地域は、次の自然災害に対して安全だと思いますか？ その理由は？ ◇豪雨

豪雨



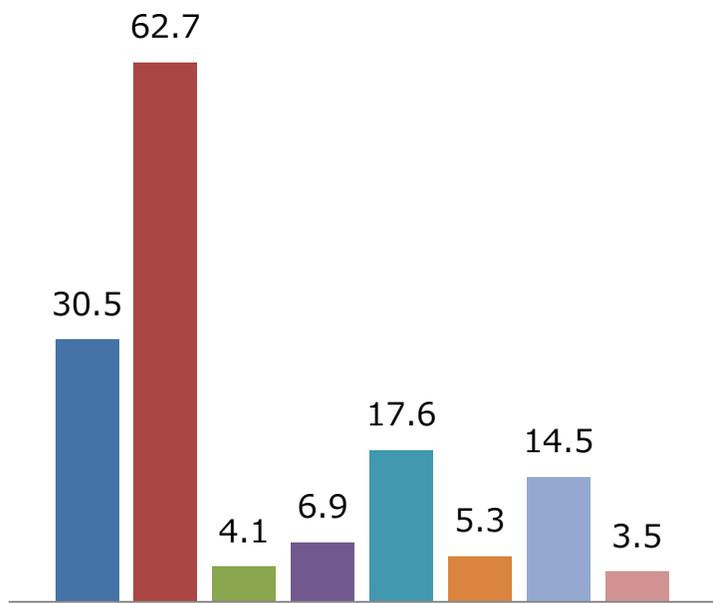
		あなたが住む地域は、次の自然災害に対して安全だと思いますか？ ◇豪雨					
		合計	危険だと感じている	やや危険だと感じている	どちらかといえば安全だと思う	安全だと思う	わからない
	全体	1279	14.5	34.8	37.5	7.7	5.6
年齢	20代以下	97	18.6	37.1	32.0	5.2	7.2
	30代	349	13.8	37.0	37.2	6.3	5.7
	40代	379	17.2	33.5	34.8	8.4	6.1
	50代	282	12.8	35.5	41.8	6.0	3.9
	60代以上	172	11.0	30.8	39.5	12.8	5.8
都道府県 (統合)	北海道	60	8.3	40.0	45.0	1.7	5.0
	東北	104	17.3	32.7	37.5	5.8	6.7
	関東	514	13.0	31.3	38.3	10.3	7.0
	中部	123	18.7	42.3	28.5	4.9	5.7
	近畿	312	10.3	35.3	41.3	8.7	4.5
	中国・四国	87	27.6	41.4	27.6	2.3	1.1
	九州・沖縄	79	21.5	35.4	35.4	3.8	3.8
住んでいる地域の安全度 (0~10)	0~3	122	31.1	49.2	12.3	3.3	4.1
	4~6	522	17.2	44.4	28.0	1.3	9.0
	7~10	619	7.4	24.4	51.4	13.9	2.9

西日本豪雨で大きな被害を受けた中国・四国地方では、豪雨への危険性を感じる割合が7割弱と特に高い。また安全性の評価ポイントが0~3と低い層も、豪雨の危険性を感じる割合が8割超。

あなたが住む地域は、次の自然災害に対して安全だと思いますか？その理由は？ ◇豪雨

豪雨

- 過去の災害の実績の有無から
- 地形や気候、地理的な条件から
- 専門家による指摘の有無から（マスコミやネット上で）
- 行政からの注意喚起の有無から
- 自分でハザードマップなどを調べたから
- 家族や友人がそう話していたから
- なんとなく
- その他

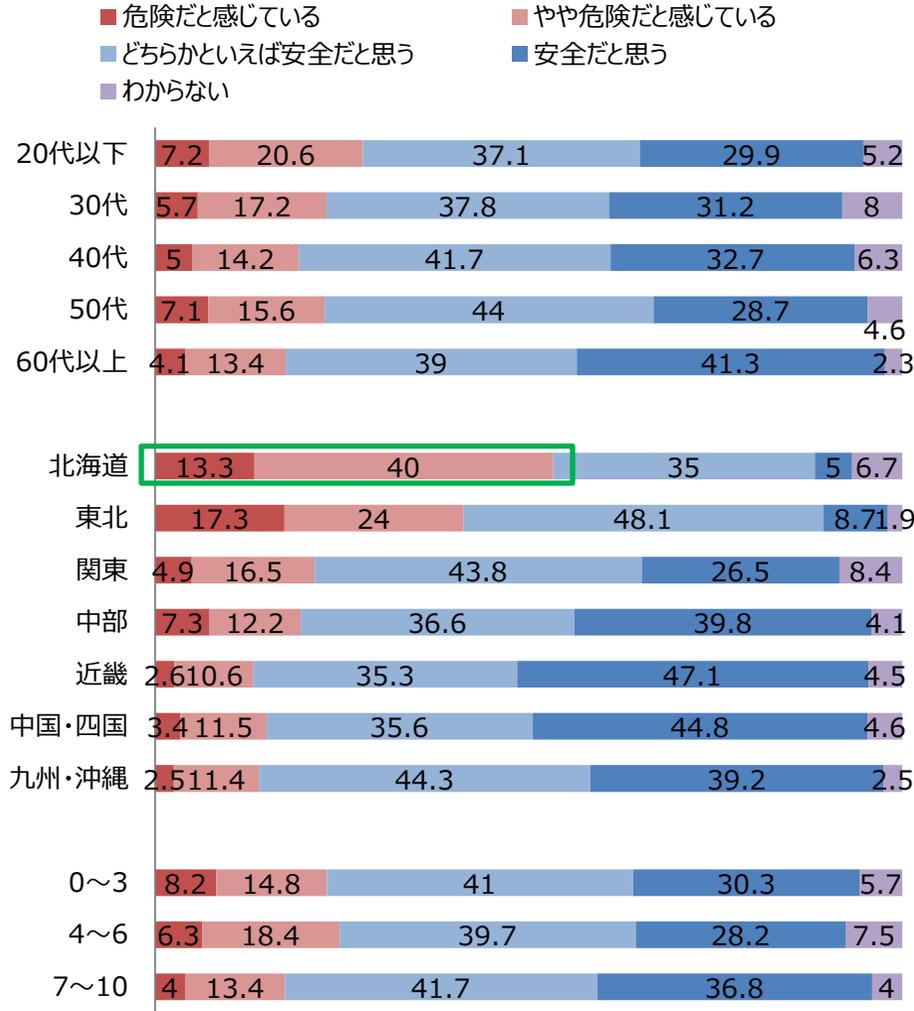


		合計	あなたが住む地域への次の自然災害に対する評価の理由 ◇豪雨 ※複数回答							
			過去の災害の実績の有無から	地形や気候、地理的な条件から	専門家による指摘の有無から（マスコミやネット上で）	行政からの注意喚起の有無から	自分でハザードマップなどを調べたから	家族や友人がそう話していたから	なんとなく	その他
	全体	1279	30.5	62.7	4.1	6.9	17.6	5.3	14.5	3.5
年齢	20代以下	97	30.9	56.7	6.2	7.2	7.2	6.2	22.7	1.0
	30代	349	30.7	57.6	4.3	7.4	19.5	7.7	17.8	4.9
	40代	379	31.1	60.2	2.6	5.0	17.2	5.0	14.0	3.2
	50代	282	29.8	67.7	5.3	7.4	17.0	4.3	11.3	4.3
	60代以上	172	29.7	73.8	3.5	8.7	21.5	2.3	9.3	1.7
都道府県（統合）	北海道	60	30.0	55.0	6.7	6.7	18.3	3.3	15.0	1.7
	東北	104	32.7	66.3	3.8	5.8	13.5	3.8	12.5	3.8
	関東	514	25.5	63.4	4.1	5.6	19.1	5.3	16.3	2.9
	中部	123	37.4	57.7	4.1	4.9	15.4	6.5	17.1	1.6
	近畿	312	30.8	63.1	4.8	7.7	19.9	6.1	12.8	6.4
	中国・四国	87	42.5	62.1	2.3	13.8	13.8	5.7	10.3	2.3
	九州・沖縄	79	35.4	65.8	1.3	8.9	11.4	3.8	11.4	1.3
住んでいる地域の安全度（0～10）	0～3	122	33.6	58.2	9.8	9.0	17.2	7.4	13.9	3.3
	4～6	522	25.9	56.9	4.4	5.6	16.7	5.2	19.5	4.0
	7～10	619	33.1	69.0	2.6	7.6	18.1	4.8	10.5	3.2

豪雨への危険性を感じる理由は、全体では「地理的な条件」が1位。西日本豪雨で大きな被害を受けた中国・四国地方では、「過去の災害の実績」が42.5%と比較的多かった。20代は「自分でハザードマップなどで調べた」がかなり低く、「なんとなく」が多い。

あなたが住む地域は、次の自然災害に対して安全だと思えますか？ その理由は？ ◆大雪

大雪



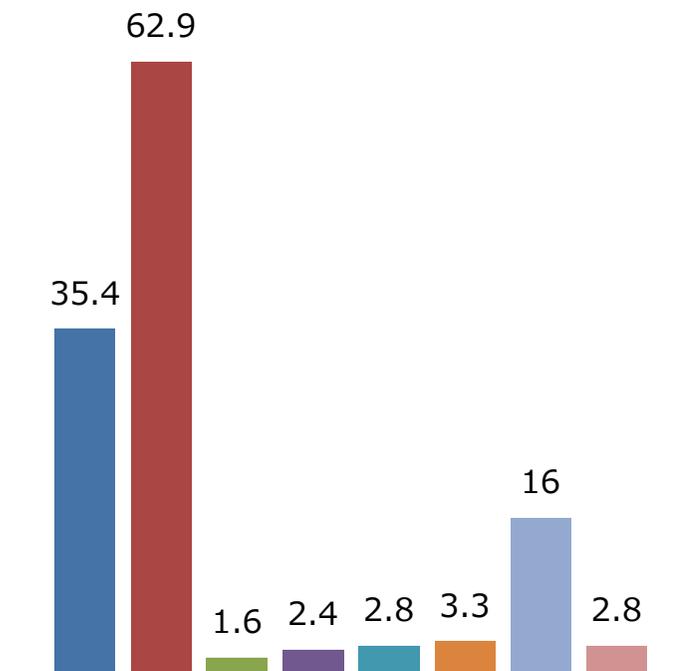
		あなたが住む地域は、次の自然災害に対して安全だと思えますか？ ◆大雪					
		合計	危険だと思っている	やや危険だと思っている	どちらかといえば安全だと思う	安全だと思う	わからない
	全体	1279	5.7	15.7	40.4	32.4	5.8
年齢	20代以下	97	7.2	20.6	37.1	29.9	5.2
	30代	349	5.7	17.2	37.8	31.2	8.0
	40代	379	5.0	14.2	41.7	32.7	6.3
	50代	282	7.1	15.6	44.0	28.7	4.6
	60代以上	172	4.1	13.4	39.0	41.3	2.3
都道府県(統合)	北海道	60	13.3	40.0	35.0	5.0	6.7
	東北	104	17.3	24.0	48.1	8.7	1.9
	関東	514	4.9	16.5	43.8	26.5	8.4
	中部	123	7.3	12.2	36.6	39.8	4.1
	近畿	312	2.6	10.6	35.3	47.1	4.5
	中国・四国	87	3.4	11.5	35.6	44.8	4.6
	九州・沖縄	79	2.5	11.4	44.3	39.2	2.5
住んでいる地域の安全度(0~10)	0~3	122	8.2	14.8	41.0	30.3	5.7
	4~6	522	6.3	18.4	39.7	28.2	7.5
	7~10	619	4.0	13.4	41.7	36.8	4.0

大雪への危険性を感じる人は全体では、2割と少ない。危機意識（危険+やや危険）が高いのは、北海道地方。

あなたが住む地域は、次の自然災害に対して安全だと思いますか？その理由は？ ◇大雪

大雪

- 過去の災害の実績の有無から
- 地形や気候、地理的な条件から
- 専門家による指摘の有無から（マスコミやネット上で）
- 行政からの注意喚起の有無から
- 自分でハザードマップなどを調べたから
- 家族や友人がそう話していたから
- なんとなく
- そのほか

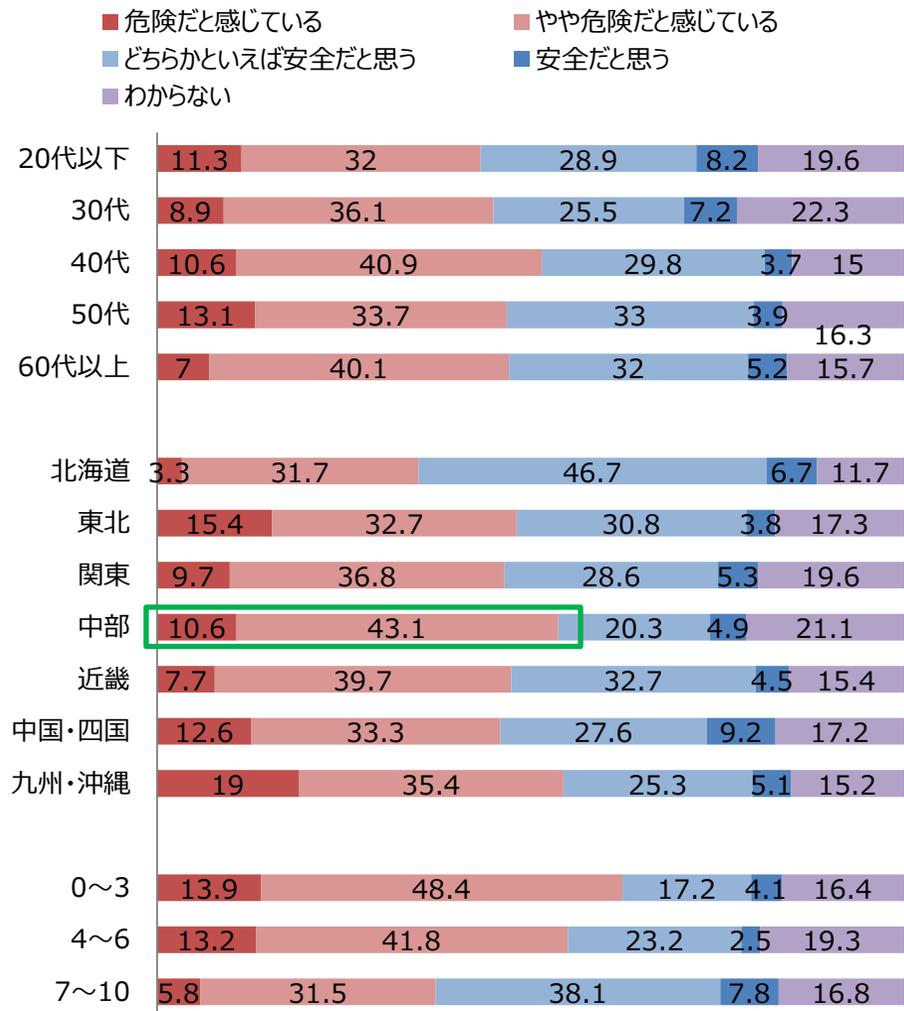


		あなたが住む地域への次の自然災害に対する評価の理由 ◇大雪 ※複数回答									
		合計	過去の災害の実績の有無から	地形や気候、地理的な条件から	専門家による指摘の有無から（マスコミやネット上で）	行政からの注意喚起の有無から	自分でハザードマップなどを調べたから	家族や友人がそう話していたから	なんとなく	その他	
	全体	1279	35.4	62.9	1.6	2.4	2.8	3.3	16.0	2.8	
年齢	20代以下	97	33.0	58.8	2.1	1.0	2.1	10.3	18.6	1.0	
	30代	349	41.0	56.2	1.7	2.9	2.0	5.2	18.9	4.6	
	40代	379	33.8	62.8	1.3	2.4	2.6	1.8	17.7	2.1	
	50代	282	31.2	68.4	0.7	2.5	3.2	1.4	13.1	2.8	
	60代以上	172	36.0	70.3	2.9	2.3	4.7	1.7	9.9	1.7	
都道府県（統合）	北海道	60	46.7	53.3	5.0	5.0	5.0	3.3	23.3	0.0	
	東北	104	39.4	69.2	1.9	3.8	1.0	4.8	9.6	4.8	
	関東	514	35.4	59.3	1.2	2.7	2.5	2.1	19.5	2.9	
	中部	123	38.2	64.2	3.3	1.6	2.4	6.5	16.3	1.6	
	近畿	312	30.4	67.0	1.0	1.6	3.5	3.2	12.5	2.9	
	中国・四国	87	35.6	63.2	1.1	2.3	5.7	3.4	17.2	3.4	
	九州・沖縄	79	36.7	67.1	1.3	1.3	0.0	3.8	8.9	2.5	
住んでいる地域の安全度（0～10）	0～3	122	27.0	54.9	2.5	0.0	4.1	2.5	23.0	3.3	
	4～6	522	31.4	59.2	1.1	1.5	1.5	3.1	19.0	3.1	
	7～10	619	40.4	68.7	1.6	3.6	3.2	3.4	11.6	2.6	

大雪への危険性を感じる理由では、北海道の人は「過去の災害の実績」が46%と比較的多かった。「専門家」「行政」「自分で調べた」等は極端に低い

あなたが住む地域は、次の自然災害に対して安全だと思いますか？ その理由は？ ◇大風・竜巻

大風・竜巻



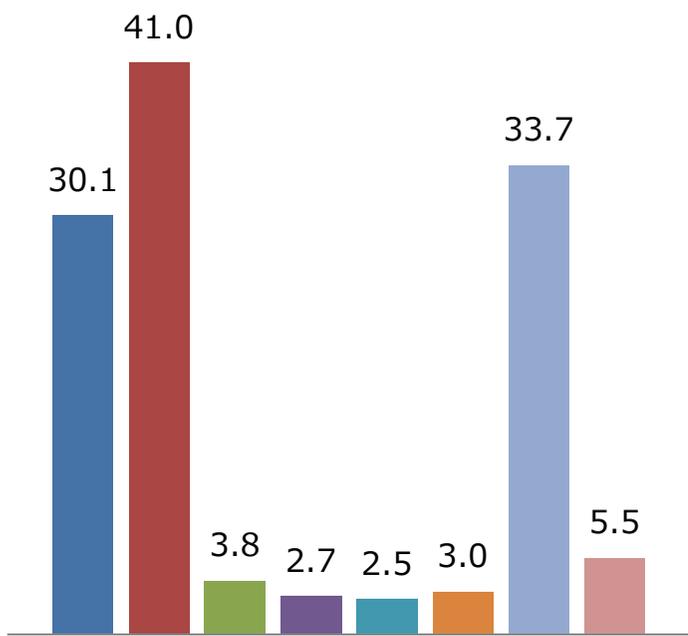
		あなたが住む地域は、次の自然災害に対して安全だと思いますか？ ◇大風・竜巻					
		合計	危険だと感じている	やや危険だと感じている	どちらかといえば安全だと思う	安全だと思う	わからない
	全体	1279	10.2	37.2	29.6	5.2	17.7
年齢	20代以下	97	11.3	32.0	28.9	8.2	19.6
	30代	349	8.9	36.1	25.5	7.2	22.3
	40代	379	10.6	40.9	29.8	3.7	15.0
	50代	282	13.1	33.7	33.0	3.9	16.3
	60代以上	172	7.0	40.1	32.0	5.2	15.7
都道府県(統合)	北海道	60	3.3	31.7	46.7	6.7	11.7
	東北	104	15.4	32.7	30.8	3.8	17.3
	関東	514	9.7	36.8	28.6	5.3	19.6
	中部	123	10.6	43.1	20.3	4.9	21.1
	近畿	312	7.7	39.7	32.7	4.5	15.4
	中国・四国	87	12.6	33.3	27.6	9.2	17.2
	九州・沖縄	79	19.0	35.4	25.3	5.1	15.2
住んでいる地域の安全度(0~10)	0~3	122	13.9	48.4	17.2	4.1	16.4
	4~6	522	13.2	41.8	23.2	2.5	19.3
	7~10	619	5.8	31.5	38.1	7.8	16.8

大風・竜巻への危険性を感じる人は全体では、47.3%と半数近い。地域では中部地方が半数を超え、比較的高い。北海道では、「どちらかといえば安全」「安全」が半数超。

Q 1. あなたが住む地域は、次の自然災害に対して安全だと思いますか？その理由は？ ◇大風・竜巻

大風・竜巻

- 過去の災害の実績の有無から
- 地形や気候、地理的な条件から
- 専門家による指摘の有無から（マスコミやネット上で）
- 行政からの注意喚起の有無から
- 自分でハザードマップなどを調べたから
- 家族や友人がそう話していたから
- なんとなく
- その他

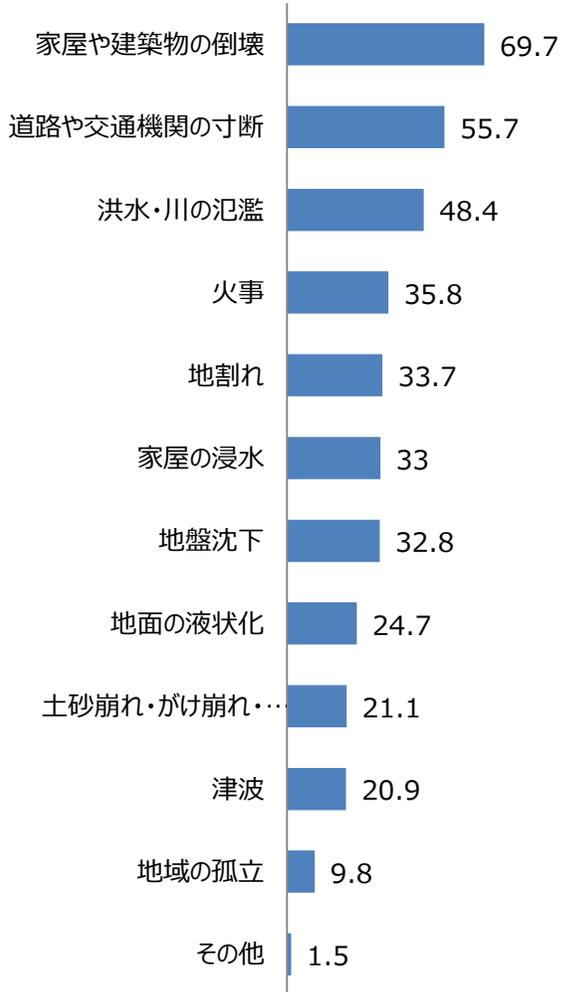


		あなたが住む地域への次の自然災害に対する評価の理由 ◇大風・竜巻 ※複数回答								
		合計	過去の災害の実績の有無から	地形や気候、地理的な条件から	専門家による指摘の有無から（マスコミやネット上で）	行政からの注意喚起の有無から	自分でハザードマップなどを調べたから	家族や友人がそう話していたから	なんとなく	その他
	全体	1279	30.1	41.0	3.8	2.7	2.5	3.0	33.7	5.5
年齢	20代以下	97	39.2	29.9	3.1	2.1	0.0	4.1	36.1	0.0
	30代	349	32.4	32.1	3.7	2.3	2.0	5.7	38.4	6.0
	40代	379	27.4	44.9	4.0	2.4	1.8	1.8	33.5	4.2
	50代	282	28.4	43.6	2.5	3.9	4.3	2.5	30.9	8.5
	60代以上	172	29.1	52.9	6.4	2.9	3.5	0.6	27.9	5.2
都道府県（統合）	北海道	60	45.0	40.0	6.7	3.3	1.7	3.3	30.0	3.3
	東北	104	31.7	44.2	4.8	1.0	1.9	3.8	29.8	2.9
	関東	514	27.8	40.7	3.1	3.1	2.5	2.1	36.4	4.9
	中部	123	26.8	35.8	5.7	8.1	3.3	4.9	37.4	7.3
	近畿	312	31.7	39.7	3.2	1.3	2.6	3.8	31.7	7.4
	中国・四国	87	29.9	49.4	3.4	1.1	3.4	2.3	32.2	3.4
	九州・沖縄	79	30.4	44.3	5.1	1.3	1.3	2.5	27.8	6.3
住んでいる地域の安全度（0～10）	0～3	122	30.3	32.8	8.2	3.3	1.6	5.7	31.1	6.6
	4～6	522	25.7	40.8	2.5	2.5	2.1	2.7	36.4	5.7
	7～10	619	33.8	43.1	3.7	2.7	2.7	2.7	31.8	5.0

他の災害に比べて「なんとなく」を選択する人が多く、1/3を超えた。

5点以下と答えた人にお聞きします。お住まいの地域であるかもしれないと不安を感じる被害は？

総合点が5点以下の人が 不安を感じる被害

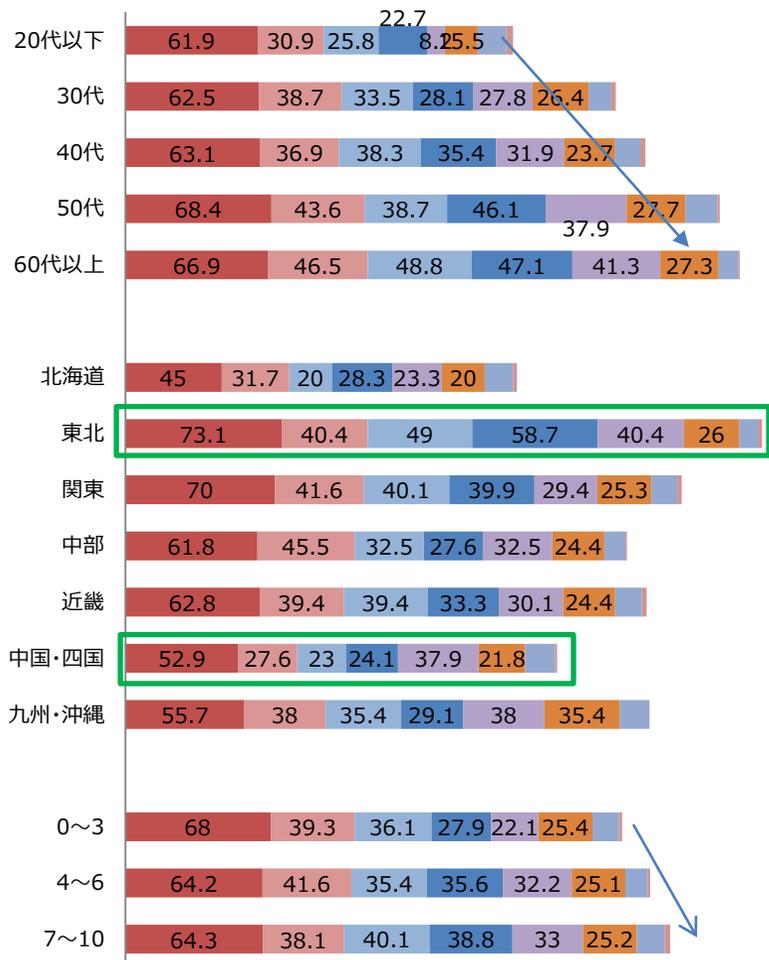


		5点以下と答えた人にお聞きします。お住まいの地域であるかもしれないと、不安を感じる被害は下記のうちのどれですか？ ※複数回答													
		合計	家屋や建築物の倒壊	道路や交通機関の寸断	洪水・川の氾濫	火事	地割れ	家屋の浸水	地盤沈下	地面の液状化	土砂崩れ・がけ崩れ・地すべり	津波	地域の孤立	その他	
	全体	469	69.7	55.7	48.4	35.8	33.7	33	32.8	24.7	21.1	20.9	9.8	1.5	
年齢	20代以下	40	87.5	52.5	50	40	50	25	32.5	27.5	30	17.5	10	0	
	30代	128	63.3	53.1	46.1	35.2	25.8	32.8	34.4	25.8	19.5	16.4	10.9	3.1	
	40代	144	71.5	55.6	49.3	31.9	32.6	36.8	28.5	23.6	18.1	27.1	11.8	1.4	
	50代	106	68.9	63.2	50.9	43.4	42.5	32.1	39.6	25.5	21.7	20.8	8.5	0.9	
	60代以上	51	68.6	49	45.1	29.4	25.5	31.4	27.5	21.6	25.5	17.6	3.9	0	
	都道府県(統合)	北海道	20	65	55	45	35	40	15	40	30	15	5	15	5
	東北	38	76.3	36.8	47.4	28.9	36.8	44.7	21.1	13.2	18.4	23.7	7.9	2.6	
	関東	170	68.2	57.1	45.9	41.8	31.8	27.6	30.6	24.1	15.9	18.2	6.5	1.2	
	中部	64	67.2	53.1	51.6	29.7	35.9	42.2	34.4	40.6	14.1	21.9	9.4	0	
	近畿	111	66.7	57.7	38.7	30.6	29.7	23.4	32.4	17.1	25.2	25.2	9.9	0.9	
	中国・四国	38	84.2	71.1	73.7	34.2	42.1	57.9	47.4	36.8	47.4	31.6	23.7	2.6	
	九州・沖縄	28	71.4	50	64.3	46.4	35.7	46.4	35.7	17.9	25	10.7	10.7	3.6	
住んでいる地域の安全度(0~10)	0~3	122	69.7	61.5	53.3	36.1	36.1	43.4	35.2	32.8	23.8	27.9	12.3	1.6	
	4~6	331	69.5	52.6	47.1	36.3	31.7	29.3	31.7	20.8	19.9	17.5	8.5	1.5	
	7~10	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

災害対策として、あなたや家族が、日ごろから準備をしているものは？

災害対策として日ごろから、準備しているもの

- 備蓄用の水や食料品
- 家具や家電などの転倒防止・固定
- 地震保険
- 防災アプリ・災害対策アプリ
- 非常用持ち出し袋
- カセットコンロのボンベ・電池など非常用グッズ
- 防災マップ・ハザードマップ
- その他



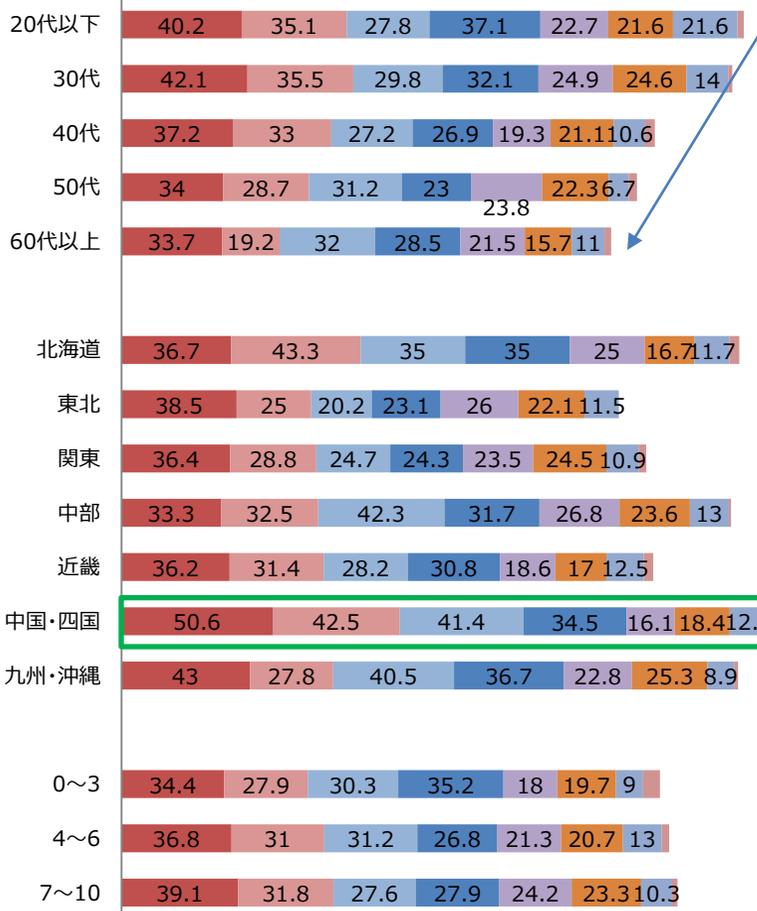
		合計	災害対策として、あなたや家族が、日ごろから準備しているものは？ ※複数回答								
			備蓄用の水や食料品	非常用持ち出し袋	家具や家電などの転倒防止・固定	カセットコンロのボンベ・電池など非常用グッズ	地震保険	防災マップ・ハザードマップ	防災アプリ・災害対策アプリ	日ごろから準備しているものは特にない	その他
	全体	1279	64.5	39.7	37.5	36.4	31.6	25.2	12.0	16.0	1.8
年齢	20代以下	97	61.9	30.9	25.8	22.7	8.2	15.5	13.4	22.7	3.1
	30代	349	62.5	38.7	33.5	28.1	27.8	26.4	10.6	16.9	2.0
	40代	379	63.1	36.9	38.3	35.4	31.9	23.7	11.9	16.1	2.4
	50代	282	68.4	43.6	38.7	46.1	37.9	27.7	14.9	14.2	1.1
	60代以上	172	66.9	46.5	48.8	47.1	41.3	27.3	9.3	13.4	0.6
都道府県(統合)	北海道	60	45.0	31.7	20	28.3	23.3	20.0	13.3	30.0	1.7
	東北	104	73.1	40.4	49	58.7	40.4	26.0	8.7	10.6	1.9
	関東	514	70.0	41.6	40.1	39.9	29.4	25.3	12.1	14.4	2.1
	中部	123	61.8	45.5	32.5	27.6	32.5	24.4	9.8	19.5	0.8
	近畿	312	62.8	39.4	39.4	33.3	30.1	24.4	12.5	14.7	2.2
	中国・四国	87	52.9	27.6	23	24.1	37.9	21.8	13.8	19.5	1.1
	九州・沖縄	79	55.7	38.0	35.4	29.1	38.0	35.4	13.9	19.0	0.0
住んでいる地域の安全度(0~10)	0~3	122	68.0	39.3	36.1	27.9	22.1	25.4	12.3	20.5	1.6
	4~6	522	64.2	41.6	35.4	35.6	32.2	25.1	10.7	15.9	1.0
	7~10	619	64.3	38.1	40.1	38.8	33.0	25.2	13.1	15.2	2.6

備えているものは①備蓄用の水や食料品②家具や家電などの転倒防止・固定③非常用持ち出し袋。年代が上がるほど、いろいろな災害への備えをしている。独身の多い20代は、地震保険の加入が特に低い。エリア別では、東北地方で準備しているアイテムが最も多く、中国・四国地方で最も少ない。安全性評価が高い方が、準備しているものが多い傾向もある。

今はまだ準備をしていないが、今後、準備したいものは？

災害対策として今後、準備したいもの

- 非常用持ち出し袋
- 備蓄用の水や食料品
- 家具や家電などの転倒防止・固定
- カセットコンロのボンベ・電池など非常用グッズ
- 防災マップ・ハザードマップ
- 防災アプリ・災害対策アプリ
- 地震保険
- その他



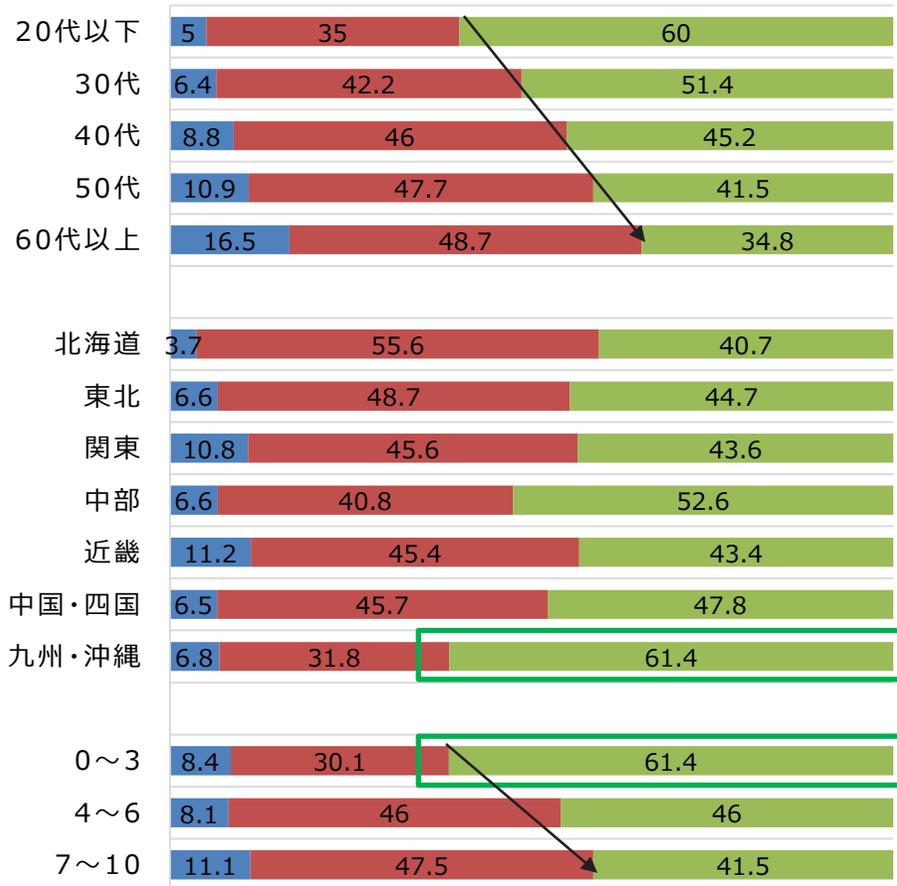
		合計	今はまだ準備をしていないが、今後、準備したいものは？ ※複数回答								
			非常用持ち出し袋	備蓄用の水や食料品	家具や家電などの転倒防止・固定	カセットコンロのボンベ・電池など非常用グッズ	防災マップ・ハザードマップ	防災アプリ・災害対策アプリ	地震保険	今まだ準備していないものの中で今後準備したいものは特になし	その他
年齢	全体	1279	37.6	31	29.5	28.5	22.4	21.7	11.6	10	2.4
	20代以下	97	40.2	35.1	27.8	37.1	22.7	21.6	21.6	7.2	2.1
	30代	349	42.1	35.5	29.8	32.1	24.9	24.6	14	9.2	1.4
	40代	379	37.2	33	27.2	26.9	19.3	21.1	10.6	10.3	3.2
	50代	282	34	28.7	31.2	23	23.8	22.3	6.7	11.3	2.8
60代以上	172	33.7	19.2	32	28.5	21.5	15.7	11	10.5	2.3	
都道府県(統合)	北海道	60	36.7	43.3	35	35	25	16.7	11.7	6.7	3.3
	東北	104	38.5	25	20.2	23.1	26	22.1	11.5	11.5	0
	関東	514	36.4	28.8	24.7	24.3	23.5	24.5	10.9	12.5	2.5
	中部	123	33.3	32.5	42.3	31.7	26.8	23.6	13	7.3	0.8
	近畿	312	36.2	31.4	28.2	30.8	18.6	17	12.5	9.3	3.2
	中国・四国	87	50.6	42.5	41.4	34.5	16.1	18.4	12.6	4.6	4.6
九州・沖縄	79	43	27.8	40.5	36.7	22.8	25.3	8.9	7.6	1.3	
住んでいる地域の安全度(0~10)	0~3	122	34.4	27.9	30.3	35.2	18	19.7	9	10.7	5.7
	4~6	522	36.8	31	31.2	26.8	21.3	20.7	13	10	2.5
	7~10	619	39.1	31.8	27.6	27.9	24.2	23.3	10.3	10	1.8

今後準備したいものは、①非常用持ち出し袋②備蓄用の水や食料品③家具や家電などの転倒防止・固定。現在は「準備していない」と答えた割合が多かった層が、準備したいものを多く挙げている。エリア別では、中国・四国地方が最も多く、特に「非常用持ち出し袋」を備えたいという意向が半数強。

あなたの家庭で準備している備蓄は、家族全員分の3日分～7日分を目安にしていますか？

備蓄の目安

- 1週間以上の備蓄がある
- 3日分～7日分の備蓄がある
- 備蓄はあるが3日分未満



		あなたの家庭で準備している備蓄は、家族全員分の3日分～7日分を目安にしていますか？			
		合計	1週間以上の備蓄がある	3日分～7日分の備蓄がある	備蓄はあるが3日分未満
	全体	1279	9.5	45.0	45.6
年齢	20代以下	97	5.0	35.0	60.0
	30代	349	6.4	42.2	51.4
	40代	379	8.8	46.0	45.2
	50代	282	10.9	47.7	41.5
	60代以上	172	16.5	48.7	34.8
都道府県（統合）	北海道	60	3.7	55.6	40.7
	東北	104	6.6	48.7	44.7
	関東	514	10.8	45.6	43.6
	中部	123	6.6	40.8	52.6
	近畿	312	11.2	45.4	43.4
	中国・四国	87	6.5	45.7	47.8
	九州・沖縄	79	6.8	31.8	61.4
住んでいる地域の安全度（0～10）	0～3	122	8.4	30.1	61.4
	4～6	522	8.1	46.0	46.0
	7～10	619	11.1	47.5	41.5

備蓄の目安においても、年代が下がるほど、また安全性評価が低いほど、備蓄量が少ない傾向がある。エリア別に見ると、特に九州・沖縄地方で、「備蓄はあるが3日分未満」が6割を超えた。

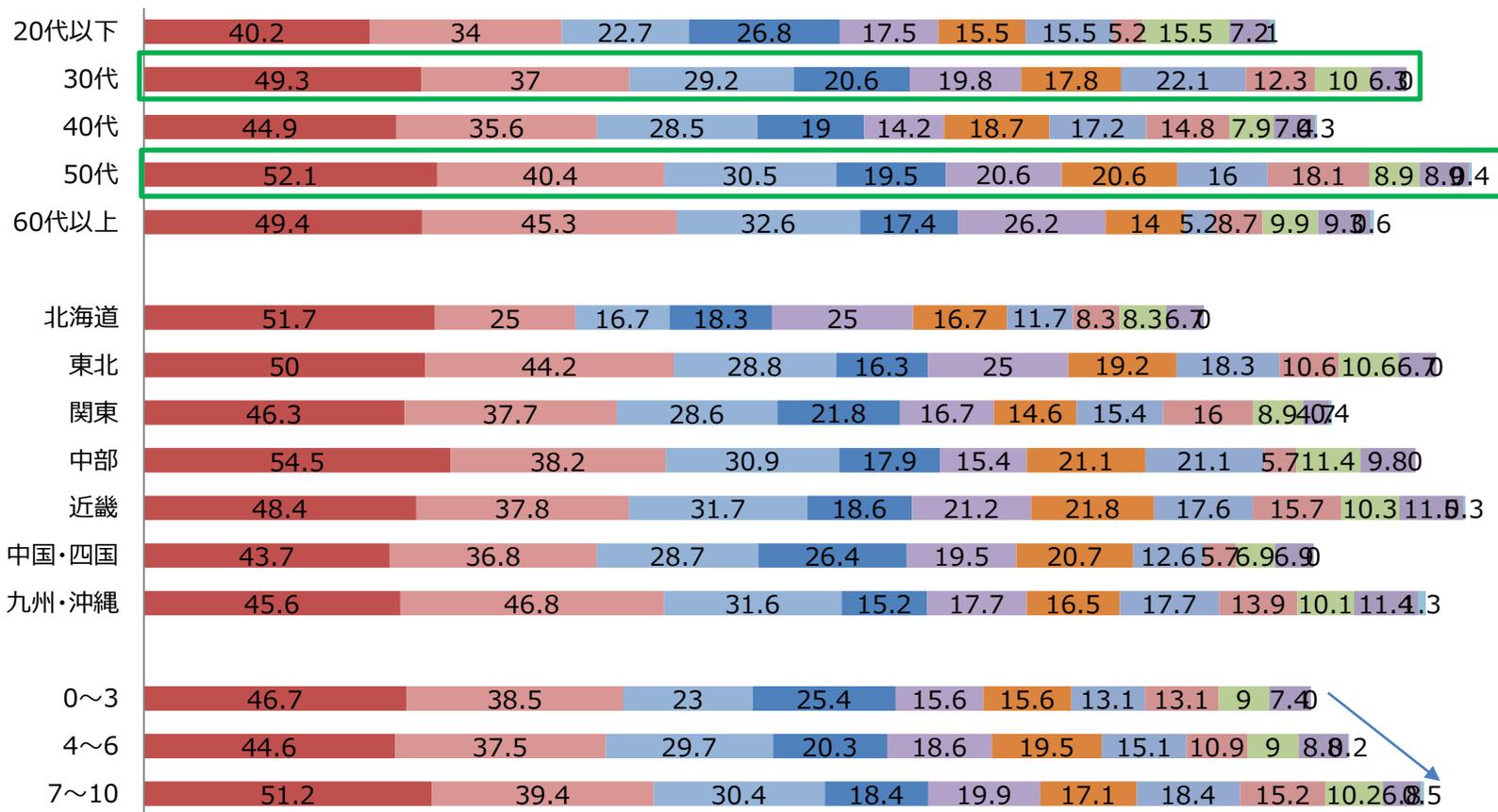
災害対策として、あなた自身や家族が、日ごろから確認をしている情報は？

		合計	災害対策として、あなた自身や家族が、日ごろから確認をしている情報は？ ※複数回答										
			自宅周辺の避難ルート	緊急時の家族の連絡方法	雨雲レーダーや台風・地震などの災害予測情報	日ごろから確認している情報は特にない	自分が住む地域の危険なゾーン（ハザードマップ）	自分や家族の学校や勤務先周辺の避難所とルート	緊急時の学校や勤め先との連絡方法	交通が寸断した場合の帰宅方法	緊急時の親戚や友人との連絡方法	自分や家族の学校や職場周辺の危険なゾーン（ハザードマップ）	その他
	全体	1279	47.9	38.2	29.2	19.9	19.0	18.0	16.5	13.3	9.5	7.7	0.3
年齢	20代以下	97	40.2	34	22.7	26.8	17.5	15.5	15.5	5.2	15.5	7.2	1
	30代	349	49.3	37	29.2	20.6	19.8	17.8	22.1	12.3	10	6.3	0
	40代	379	44.9	35.6	28.5	19	14.2	18.7	17.2	14.8	7.9	7.4	0.3
	50代	282	52.1	40.4	30.5	19.5	20.6	20.6	16	18.1	8.9	8.9	0.4
	60代以上	172	49.4	45.3	32.6	17.4	26.2	14	5.2	8.7	9.9	9.3	0.6
都道府県 (統合)	北海道	60	51.7	25	16.7	18.3	25	16.7	11.7	8.3	8.3	6.7	0
	東北	104	50	44.2	28.8	16.3	25	19.2	18.3	10.6	10.6	6.7	0
	関東	514	46.3	37.7	28.6	21.8	16.7	14.6	15.4	16	8.9	4.7	0.4
	中部	123	54.5	38.2	30.9	17.9	15.4	21.1	21.1	5.7	11.4	9.8	0
	近畿	312	48.4	37.8	31.7	18.6	21.2	21.8	17.6	15.7	10.3	11.5	0.3
	中国・四国	87	43.7	36.8	28.7	26.4	19.5	20.7	12.6	5.7	6.9	6.9	0
	九州・沖縄	79	45.6	46.8	31.6	15.2	17.7	16.5	17.7	13.9	10.1	11.4	1.3
住んでいる地域の安全度 (0~10)	0~3	122	46.7	38.5	23	25.4	15.6	15.6	13.1	13.1	9	7.4	0
	4~6	522	44.6	37.5	29.7	20.3	18.6	19.5	15.1	10.9	9	8.8	0.2
	7~10	619	51.2	39.4	30.4	18.4	19.9	17.1	18.4	15.2	10.2	6.8	0.5

災害対策として、あなた自身や家族が、日ごろから確認をしている情報は？

災害対策として日ごろ、確認している情報

- 自宅周辺の避難所とルート
- 緊急時の家族の連絡方法
- 雨雲レーダーや台風・地震などの災害予測情報
- 日ごろから確認している情報は特にない
- 自分が住む地域の危険なゾーン（ハザードマップ）
- 自分や家族の学校や勤務先周辺の避難所とルート
- 緊急時の学校や勤め先との連絡方法
- 交通が寸断した場合の帰宅方法
- 緊急時の親戚や友人との連絡方法
- 自分や家族の学校や職場周辺の危険なゾーン（ハザードマップ）
- その他



災害対策として日ごろ確認している情報は①自宅周辺の避難所とルート②緊急時の家族の連絡方法③雨雲レーダーなどの災害予測情報。次が「日ごろから確認している情報は特にない」で2割。年代別では30代、50代が、安全性評価別では、ポイントが高い方が、確認する情報の種類が多い。

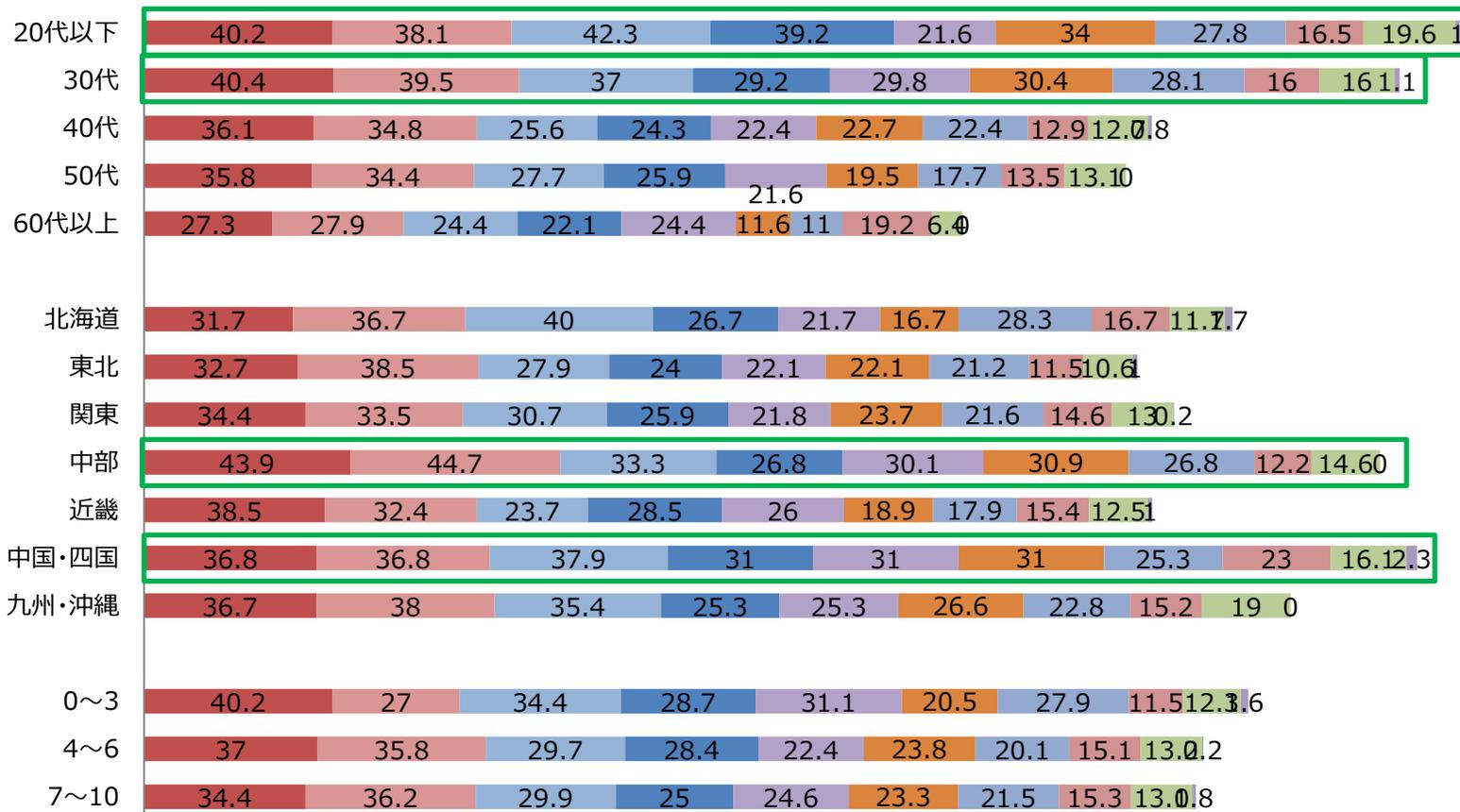
今はまだ確認をしていないが、今後確認したい情報は？

		合計	今はまだ確認をしていないが、今後確認したい情報は？ ※複数回答										
			緊急時の家族の連絡方法	交通が寸断した場合の帰宅方法	自分が住む地域の危険なゾーン（ハザードマップ）	自宅周辺の避難所とルート	緊急時の親戚や友人との連絡方法	自分や家族の学校や職場周辺の危険なゾーン（ハザードマップ）	自分や家族の学校や勤務先周辺の避難所とルート	雨雲レーダーや台風・地震などの災害予測情報	緊急時の学校や勤め先との連絡方法	今まだ確認していないものの中で今後確認したい情報は特にない	その他
	全体	1279	36.4	35.3	30.3	26.8	24.5	23.5	21.8	15	13.4	8.3	0.6
年齢	20代以下	97	40.2	38.1	42.3	39.2	21.6	34	27.8	16.5	19.6	4.1	1
	30代	349	40.4	39.5	37	29.2	29.8	30.4	28.1	16	16	7.4	1.1
	40代	379	36.1	34.8	25.6	24.3	22.4	22.7	22.4	12.9	12.7	7.1	0.8
	50代	282	35.8	34.4	27.7	25.9	21.6	19.5	17.7	13.5	13.1	11	0
	60代以上	172	27.3	27.9	24.4	22.1	24.4	11.6	11	19.2	6.4	10.5	0
都道府県（統合）	北海道	60	31.7	36.7	40	26.7	21.7	16.7	28.3	16.7	11.7	5	1.7
	東北	104	32.7	38.5	27.9	24	22.1	22.1	21.2	11.5	10.6	6.7	1
	関東	514	34.4	33.5	30.7	25.9	21.8	23.7	21.6	14.6	13	11.9	0.2
	中部	123	43.9	44.7	33.3	26.8	30.1	30.9	26.8	12.2	14.6	3.3	0
	近畿	312	38.5	32.4	23.7	28.5	26	18.9	17.9	15.4	12.5	6.4	1
	中国・四国	87	36.8	36.8	37.9	31	31	31	25.3	23	16.1	8	2.3
	九州・沖縄	79	36.7	38	35.4	25.3	25.3	26.6	22.8	15.2	19	5.1	0
住んでいる地域の安全度（0～10）	0～3	122	40.2	27	34.4	28.7	31.1	20.5	27.9	11.5	12.3	6.6	1.6
	4～6	522	37	35.8	29.7	28.4	22.4	23.8	20.1	15.1	13.2	6.9	0.2
	7～10	619	34.4	36.2	29.9	25	24.6	23.3	21.5	15.3	13.1	9.7	0.8

今はまだ確認をしていないが、今後確認したい情報は？

今はまだ確認していないが、今後確認したい情報

- 緊急時の家族の連絡方法
- 交通が寸断した場合の帰宅方法
- 自分が住む地域の危険なゾーン（ハザードマップ）
- 自宅周辺の避難所とルート
- 緊急時の親戚や友人との連絡方法
- 自分や家族の学校や職場周辺の危険なゾーン（ハザードマップ）
- 自分や家族の学校や勤務先周辺の避難所とルート
- 雨雲レーダーや台風・地震などの災害予測情報
- 緊急時の学校や勤め先との連絡方法
- その他

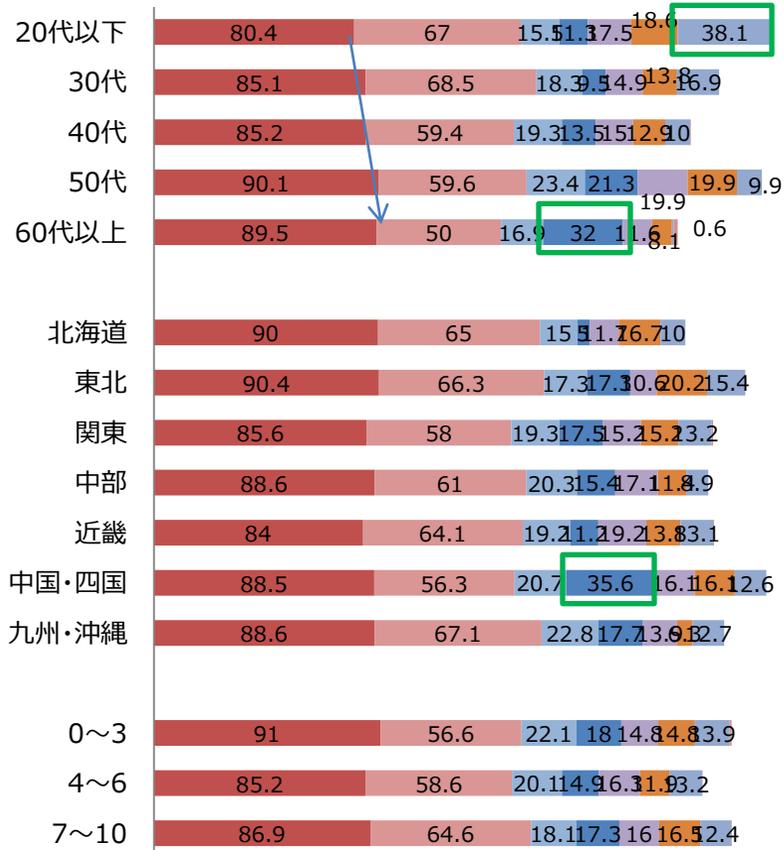


今後確認したい情報は①緊急時の家族の連絡方法②交通が寸断した場合の帰宅方法③自分が住む地域の危険なゾーン(ハザードマップ)。20代・30代は確認したい情報の種類が多く、特に20代は「ハザードマップ」が約4割。また、中部地方、中国・四国地方で、確認したい情報の種類が多い。

災害情報、災害予測情報は主にどんな情報源を通して確認していますか？

災害情報・災害予測情報の主な情報源は？

- テレビ・ラジオ・新聞などのニュースや情報番組
- ネットのニュースサイト・情報サイト
- 自治体のホームページ
- 自治体の災害緊急無線や広報車
- 災害予報・災害情報アプリ
- ニュースアプリ
- ツイッター、FacebookなどのSNS
- その他



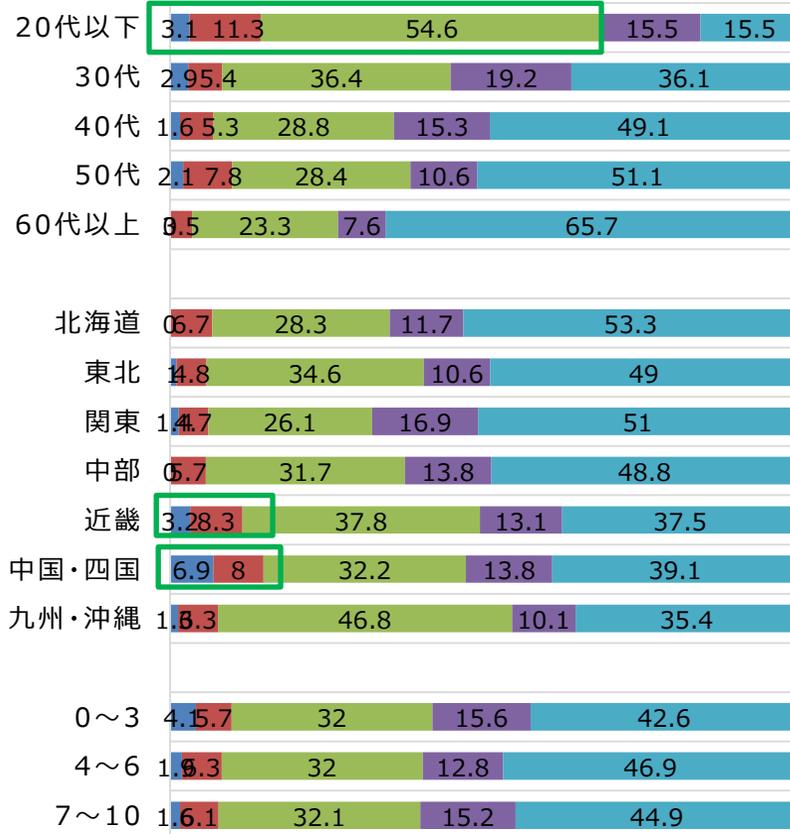
		合計	災害情報、災害予測情報は主にどんな情報源を通して確認していますか？ ※複数回答							
			テレビ・ラジオ・新聞などのニュースや情報番組	ネットのニュースサイト・情報サイト	自治体のホームページ	自治体の災害緊急無線や広報車	災害予報・災害情報アプリ	ニュースアプリ	ツイッター、FacebookなどのSNS	その他
	全体	1279	86.5	61.2	19.3	16.4	15.8	14.5	12.7	0.3
年齢	20代以下	97	80.4	67.0	15.5	11.3	17.5	18.6	38.1	0.0
	30代	349	85.1	68.5	18.3	9.5	14.9	13.8	16.9	0.0
	40代	379	85.2	59.4	19.3	13.5	15.0	12.9	10.0	0.3
	50代	282	90.1	59.6	23.4	21.3	19.9	19.9	9.9	0.0
	60代以上	172	89.5	50.0	16.9	32.0	11.6	8.1	0.6	1.7
都道府県(統合)	北海道	60	90.0	65.0	15.0	5.0	11.7	16.7	10.0	0.0
	東北	104	90.4	66.3	17.3	17.3	10.6	20.2	15.4	0.0
	関東	514	85.6	58.0	19.3	17.5	15.2	15.2	13.2	0.6
	中部	123	88.6	61.0	20.3	15.4	17.1	11.4	8.9	0.0
	近畿	312	84.0	64.1	19.2	11.2	19.2	13.8	13.1	0.3
	中国・四国	87	88.5	56.3	20.7	35.6	16.1	16.1	12.6	0.0
	九州・沖縄	79	88.6	67.1	22.8	17.7	13.9	6.3	12.7	0.0
住んでいる地域の安全度(0~10)	0~3	122	91.0	56.6	22.1	18.0	14.8	14.8	13.9	0.8
	4~6	522	85.2	58.6	20.1	14.9	16.3	11.9	13.2	0.2
	7~10	619	86.9	64.6	18.1	17.3	16.0	16.5	12.4	0.3

災害情報・災害予測情報の情報源は①テレビ・ラジオ・新聞などのニュースや情報番組②ネットのニュースサイト・情報サイト③自治体のホームページ。テレビなどのニュースは50代・60代で9割を占めるが、若い年代ほどウエイトが下がる。20代はツイッターが約4割と特に多い。60代では、「自治体の災害緊急無線や広報車」を挙げた人が1/3。被災の記憶が新しい中国・四国地方でも35.6%が、「自治体の災害緊急無線や広報車」を選択したが、20代・30代では約1割だった。

6月の大阪府北部地震、7月の西日本豪雨の際、あなたはSNSを使って情報の発信や、拡散をしましたか？

最近の災害でのSNSの利用

- 自分からの情報発信も、拡散も頻繁に行った
- 情報発信や拡散を少しした
- 情報は見たが発信・拡散はしなかった
- 情報も見なかったし発信・拡散もしなかった
- SNSは利用していない



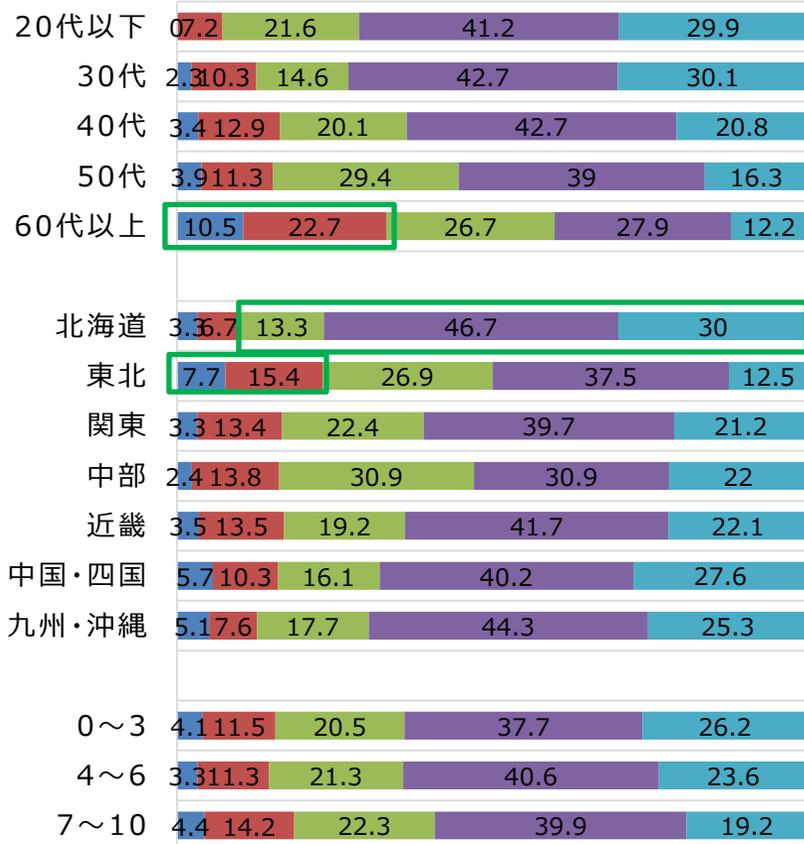
		合計	6月の大阪府北部地震、7月の西日本豪雨の際、あなたはSNSを使って情報の発信や、拡散をしましたか？				
			自分からの情報発信も、拡散も頻繁に行った	情報発信や拡散を少しした	情報は見たが発信・拡散はしなかった	情報も見なかったし発信・拡散もしなかった	SNSは利用していない
	全体	1279	2.0	6.1	32.0	14.3	45.7
年齢	20代以下	97	3.1	11.3	54.6	15.5	15.5
	30代	349	2.9	5.4	36.4	19.2	36.1
	40代	379	1.6	5.3	28.8	15.3	49.1
	50代	282	2.1	7.8	28.4	10.6	51.1
	60代以上	172	0.0	3.5	23.3	7.6	65.7
都道府県(統合)	北海道	60	0.0	6.7	28.3	11.7	53.3
	東北	104	1.0	4.8	34.6	10.6	49.0
	関東	514	1.4	4.7	26.1	16.9	51.0
	中部	123	0.0	5.7	31.7	13.8	48.8
	近畿	312	3.2	8.3	37.8	13.1	37.5
	中国・四国	87	6.9	8.0	32.2	13.8	39.1
	九州・沖縄	79	1.3	6.3	46.8	10.1	35.4
住んでいる地域の安全度(0~10)	0~3	122	4.1	5.7	32.0	15.6	42.6
	4~6	522	1.9	6.3	32.0	12.8	46.9
	7~10	619	1.6	6.1	32.1	15.2	44.9

6月の大阪府北部地震、7月の西日本豪雨の際に、SNSを使って情報の発信や、拡散をしたかを聞いた。「頻繁に+少し拡散した」人は、全体の8.1%と少数だったが、情報を見たが発信・拡散はしなかったを含めると、4割が災害時にSNSを活用した。20代では7割が活用し、特に多かった。エリア別では、被災地を含む近畿地方、中国・四国地方で、拡散の割合が比較的高かった。

自治体や町内会などが実施する防災訓練に参加したことがありますか？

防災訓練への参加

- 毎回参加している
- 時々参加している
- 参加したことはあるが最近はいしていない
- 参加したことはない
- 防災訓練が行われていることを知らない



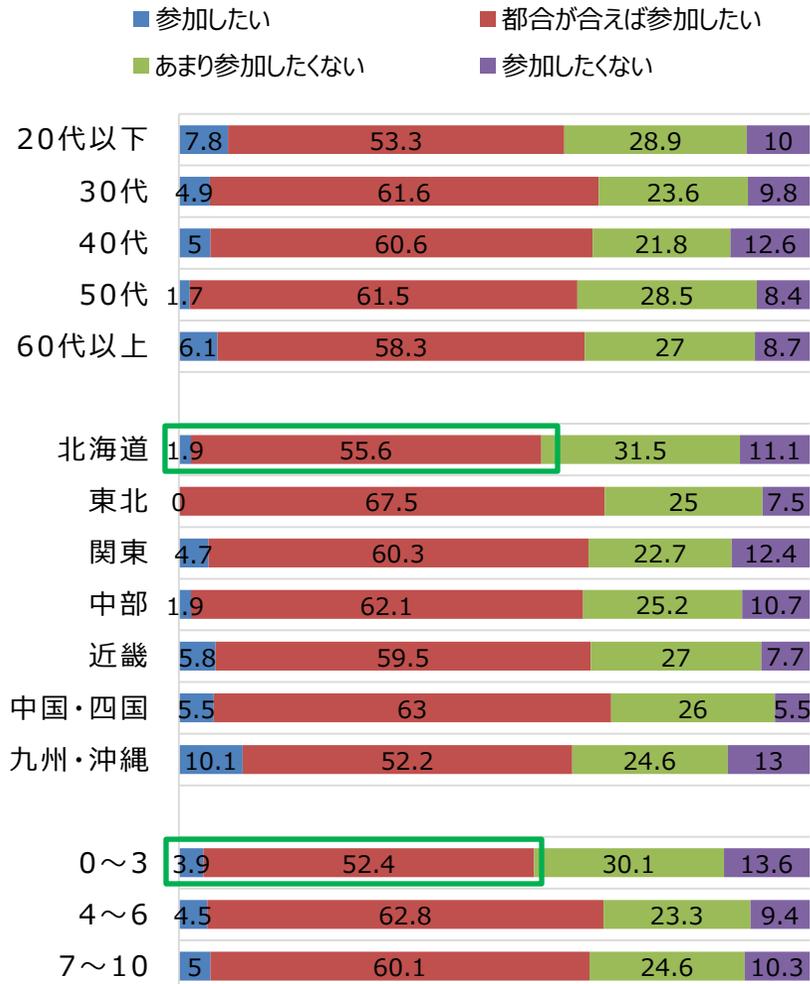
		合計	自治体や町内会などが実施する防災訓練に参加したことがありますか？				
			毎回参加している	時々参加している	参加したことはあるが最近はいしていない	参加したことはない	防災訓練が行われていることを知らない
	全体	1279	3.9	12.7	21.7	39.8	21.9
年齢	20代以下	97	0.0	7.2	21.6	41.2	29.9
	30代	349	2.3	10.3	14.6	42.7	30.1
	40代	379	3.4	12.9	20.1	42.7	20.8
	50代	282	3.9	11.3	29.4	39.0	16.3
	60代以上	172	10.5	22.7	26.7	27.9	12.2
都道府県 (統合)	北海道	60	3.3	6.7	13.3	46.7	30.0
	東北	104	7.7	15.4	26.9	37.5	12.5
	関東	514	3.3	13.4	22.4	39.7	21.2
	中部	123	2.4	13.8	30.9	30.9	22.0
	近畿	312	3.5	13.5	19.2	41.7	22.1
	中国・四国	87	5.7	10.3	16.1	40.2	27.6
	九州・沖縄	79	5.1	7.6	17.7	44.3	25.3
住んでいる 地域の安全 度 (0～10)	0～3	122	4.1	11.5	20.5	37.7	26.2
	4～6	522	3.3	11.3	21.3	40.6	23.6
	7～10	619	4.4	14.2	22.3	39.9	19.2

地域で行われる防災訓練に「毎回+時々」参加する人は16.6%と少なく、一度も参加したことがない人が全体の4割を占める。20代の参加率は7.2%と低い一方で、60代以上は1/3が参加している。

エリア別では、東北の参加率がやや高い。北海道では参加率が特に低く、「防災訓練が行われていることを知らない」が3割を占める。

自治体や町内会などが実施する防災訓練に、今後参加したいですか？

防災訓練への今後の参加意向



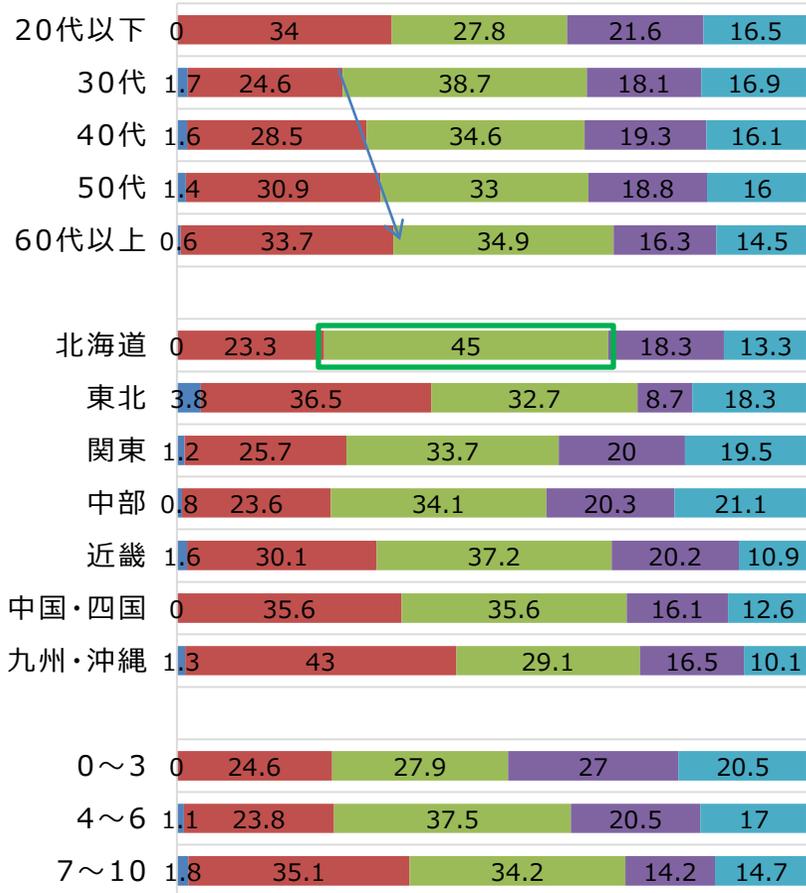
		合計	自治体や町内会などが実施する防災訓練に、今後参加したいですか？			
			参加したい	都合が合えば参加したい	あまり参加したくない	参加したくない
	全体	1279	4.6	60.2	25.0	10.2
年齢	20代以下	97	7.8	53.3	28.9	10.0
	30代	349	4.9	61.6	23.6	9.8
	40代	379	5.0	60.6	21.8	12.6
	50代	282	1.7	61.5	28.5	8.4
	60代以上	172	6.1	58.3	27.0	8.7
都道府県 (統合)	北海道	60	1.9	55.6	31.5	11.1
	東北	104	0.0	67.5	25.0	7.5
	関東	514	4.7	60.3	22.7	12.4
	中部	123	1.9	62.1	25.2	10.7
	近畿	312	5.8	59.5	27.0	7.7
	中国・四国	87	5.5	63.0	26.0	5.5
	九州・沖縄	79	10.1	52.2	24.6	13.0
住んでいる地域の安全度 (0~10)	0~3	122	3.9	52.4	30.1	13.6
	4~6	522	4.5	62.8	23.3	9.4
	7~10	619	5.0	60.1	24.6	10.3

地域で行われる防災訓練への参加意向では、「参加したい」はわずか4.6%だが、「都合があれば参加したい」は6割。実際の参加率が低い北海道では、今後の参加意向も低い傾向。安全性の評価が0~3と低い層も、参加意向は低め。

行政からの、防災に関する情報は足りていますか？

行政の防災情報は足りているか？

- 十分だと思う
- やや不足している
- わからない
- まあ足りている
- 不足している



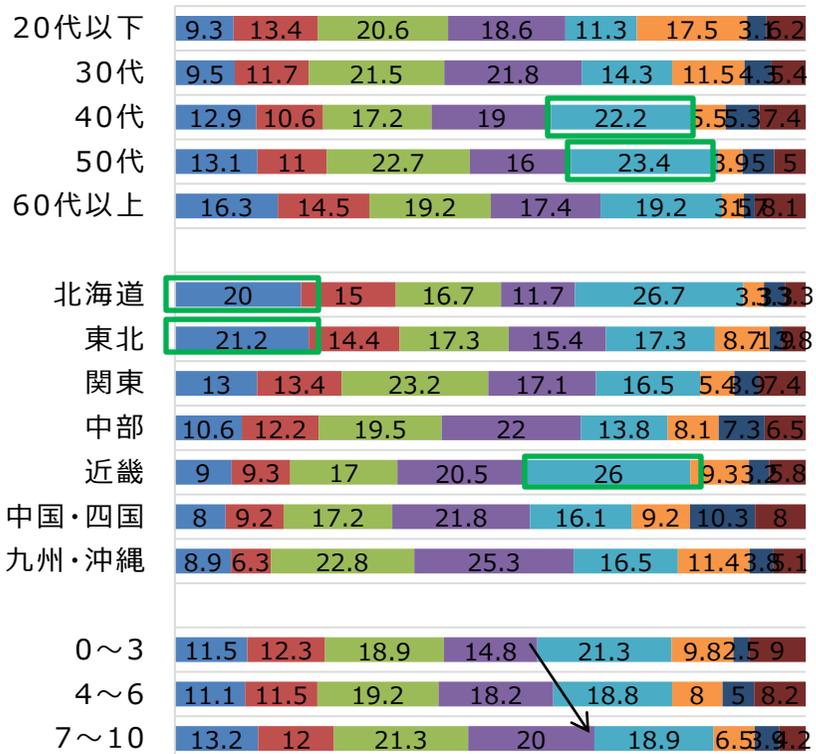
		行政からの、防災に関する情報は足りていますか？					
		合計	十分だと思 う	まあ足りて いる	やや不足し ている	不足してい る	わからな い
	全体	1279	1.3	29.1	34.9	18.6	16.1
年齢	20代以下	97	0.0	34.0	27.8	21.6	16.5
	30代	349	1.7	24.6	38.7	18.1	16.9
	40代	379	1.6	28.5	34.6	19.3	16.1
	50代	282	1.4	30.9	33.0	18.8	16.0
	60代以上	172	0.6	33.7	34.9	16.3	14.5
都道府県 (統合)	北海道	60	0.0	23.3	45.0	18.3	13.3
	東北	104	3.8	36.5	32.7	8.7	18.3
	関東	514	1.2	25.7	33.7	20.0	19.5
	中部	123	0.8	23.6	34.1	20.3	21.1
	近畿	312	1.6	30.1	37.2	20.2	10.9
	中国・四国	87	0.0	35.6	35.6	16.1	12.6
	九州・沖縄	79	1.3	43.0	29.1	16.5	10.1
住んでいる 地域の安 全度 (0～ 10)	0～3	122	0.0	24.6	27.9	27.0	20.5
	4～6	522	1.1	23.8	37.5	20.5	17.0
	7～10	619	1.8	35.1	34.2	14.2	14.7

行政の防災情報について、「十分」「まあ足りている」という回答は約3割、「やや」「不足」が半数超。年代的に見ると、最も少ないのは30代で、それ以降は年代に従って「足りている」が微増する。エリア別では、中部地方と北海道で「足りている」が少なく、特に北海道は「やや不足」が45%を占めた。東北、九州では「足りている」が4割と比較的多い。安全性評価が7～10と高い層も、他に比べて「足りている」が多い。

市区町村から、避難をしてほしいという呼びかけがあった場合、あなたはすぐ避難をしますか？

市区町村からの呼びかけにすぐ避難するか？

- 自主避難の呼びかけがあったら避難する
- 避難準備情報が出たら避難する
- 避難勧告が出たら避難する
- 避難指示が出たら避難する
- 呼びかけに関わらず自分で状況を判断して避難する
- 夫や親など家族の判断に従って避難をする
- 近所の人動き始めたら避難する
- わからない

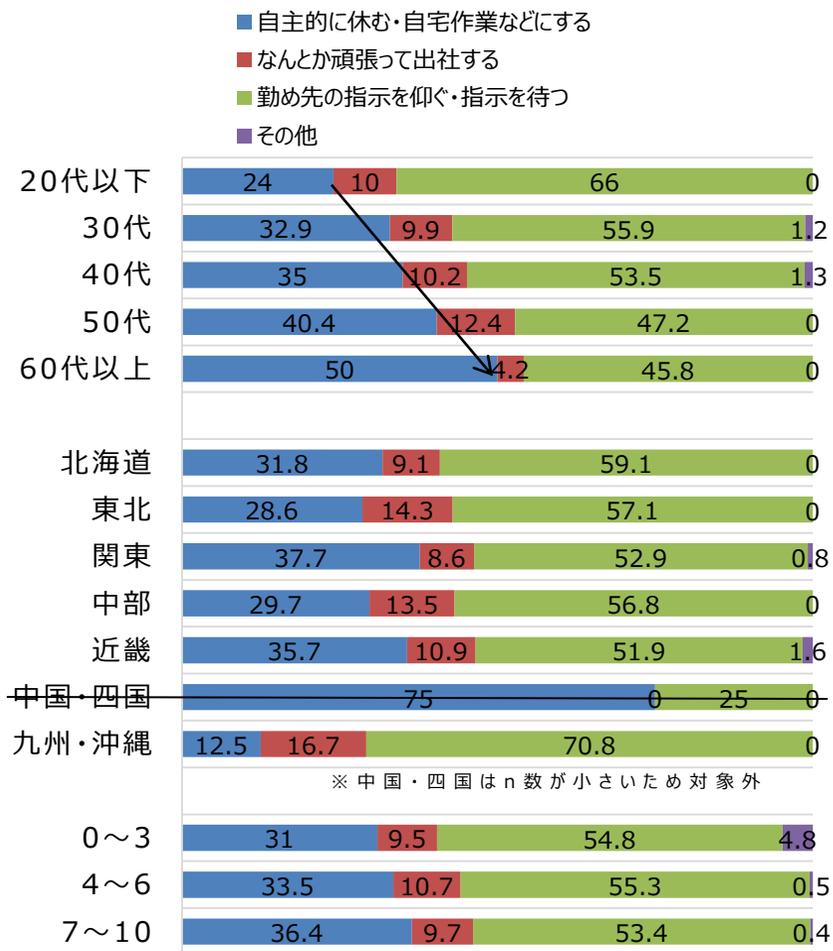


		合計	あなたの住む市区町村から、避難をしてほしいという呼びかけがあった場合、あなたはすぐ避難をしますか？							
			自主避難の呼びかけがあったら避難する	避難準備情報が出たら避難する	避難勧告が出たら避難する	避難指示が出たら避難する	呼びかけに関わらず自分で状況を判断して避難する	夫や親など家族の判断に従って避難をする	近所の人動き始めたら避難する	わからない
	全体	1279	12.2	11.7	20.1	18.8	19.1	7.4	4.3	6.3
年齢	20代以下	97	9.3	13.4	20.6	18.6	11.3	17.5	3.1	6.2
	30代	349	9.5	11.7	21.5	21.8	14.3	11.5	4.3	5.4
	40代	379	12.9	10.6	17.2	19.0	22.2	5.5	5.3	7.4
	50代	282	13.1	11.0	22.7	16.0	23.4	3.9	5.0	5.0
	60代以上	172	16.3	14.5	19.2	17.4	19.2	3.5	1.7	8.1
都道府県(統合)	北海道	60	20.0	15.0	16.7	11.7	26.7	3.3	3.3	3.3
	東北	104	21.2	14.4	17.3	15.4	17.3	8.7	1.9	3.8
	関東	514	13.0	13.4	23.2	17.1	16.5	5.4	3.9	7.4
	中部	123	10.6	12.2	19.5	22.0	13.8	8.1	7.3	6.5
	近畿	312	9.0	9.3	17.0	20.5	26.0	9.3	3.2	5.8
	中国・四国	87	8.0	9.2	17.2	21.8	16.1	9.2	10.3	8.0
	九州・沖縄	79	8.9	6.3	22.8	25.3	16.5	11.4	3.8	5.1
住んでいる地域の安全度(0～10)	0～3	122	11.5	12.3	18.9	14.8	21.3	9.8	2.5	9.0
	4～6	522	11.1	11.5	19.2	18.2	18.8	8.0	5.0	8.2
	7～10	619	13.2	12.0	21.3	20.0	18.9	6.5	3.9	4.2

災害時の避難と、市区町村からの呼びかけへの対応について聞いた。避難の判断をするのは①避難勧告が出たら②呼びかけに関わらず自分で判断③避難指示が出たら、の順。自治体の呼びかけに応じて避難する人は全体の62.8%だった。40代・50代および、近畿地方の人は、自分で判断する割合が比較的高い。東北・北海道では、「自主避難の呼びかけ」で避難する人が2割。安全性評価別では、ポイントが高い人の方が、自治体の呼びかけに応じる傾向が見られる。

大災害で交通機関が止まったり、不要不急の外出を控えるように言われた場合、とる行動に近いのは？

公共交通機関で通勤している方。大災害によって交通機関が止まるなどの場合、とる行動に近いのは？



		合計	公共交通機関で通勤している方。大災害によって交通機関が止まったり、“不要不急の外出を控えるように”と言われた場合、とる行動に近いのは？			
			自主的に休む・自宅作業などにする	なんとか頑張って出社する	勤め先の指示を仰ぐ・指示を待つ	その他
	全体	481	34.9	10.2	54.1	0.8
年齢	20代以下	50	24.0	10.0	66.0	0.0
	30代	161	32.9	9.9	55.9	1.2
	40代	157	35.0	10.2	53.5	1.3
	50代	89	40.4	12.4	47.2	0.0
	60代以上	24	50.0	4.2	45.8	0.0
都道府県 (統合)	北海道	22	31.8	9.1	59.1	0.0
	東北	21	28.6	14.3	57.1	0.0
	関東	244	37.7	8.6	52.9	0.8
	中部	37	29.7	13.5	56.8	0.0
	近畿	129	35.7	10.9	51.9	1.6
	中国・四国	4	75.0	0.0	25.0	0.0
	九州・沖縄	24	12.5	16.7	70.8	0.0
住んでいる 地域の安全度 (0～10)	0～3	42	31.0	9.5	54.8	4.8
	4～6	197	33.5	10.7	55.3	0.5
	7～10	236	36.4	9.7	53.4	0.4

公共交通機関を使って通勤している人に、災害時で交通機関が止まった際の出社について聞いた。全体では、最も多いのは「勤め先の指示を仰ぐ・待つ」で54.1%、次に「自主的に休む・自宅作業」が34.9%、「頑張って出社する」は10.2%だった。年代が上がるほど、「自主的に休む」が増え、「勤め先の指示を仰ぐ・待つ」が減少。